

## 資料編－４

### がけ面平行タイプ立ち下げ基礎標準図

## がけ面平行タイプ立ち下げ基礎標準図

本標準図は、がけ（自然がけ、あるいは既存擁壁）面に平行に、がけ下からの安定角度線（ $\alpha = 45^\circ$ ）以下となるよう、木造2階建住宅基礎を布基礎状に立ち下げる場合のもので、〔上部基礎形式〕 - 〔建物荷重〕 - 〔立ち下げ基礎深さ〕を、それぞれ各図の標準図番号 - - と【 】内の記載内容により表しており、下表の32種類が用意されています。

### 1. 標準図番号の見方

立ち下げ基礎の深さ： $H = [GL \sim \text{ベース下面までの深さ}]$ の区分で、それぞれ〔1：0.6m, 2：0.8m, 3：1.0m, 4：1.2m, 5：1.4m, 6：1.6m, 7：1.8m, 8：2.0m〕を表しています。

- 1：軽・軽...屋根重量（軽・スレート葺等）・外壁重量（軽・サウンディング）  
 2：瓦・重...屋根仕上（瓦・ふき土なし）・外壁重量（重・モルタル、タイル）  
 1：べた基礎（上部基礎形式）  
 2：布基礎（上部基礎形式）

### 2. 標準図一覧表

標準図番号	上部基礎形式	屋根材・壁材	立ち下げ深さ	標準図番号	上部基礎形式	屋根材・壁材	立ち下げ深さ
1-1-1	べた基礎	軽・軽	H=0.6m	2-1-1	布基礎	軽・軽	H=0.6m
1-1-2	べた基礎	軽・軽	H=0.8m	2-1-2	布基礎	軽・軽	H=0.8m
1-1-3	べた基礎	軽・軽	H=1.0m	2-1-3	布基礎	軽・軽	H=1.0m
1-1-4	べた基礎	軽・軽	H=1.2m	2-1-4	布基礎	軽・軽	H=1.2m
1-1-5	べた基礎	軽・軽	H=1.4m	2-1-5	布基礎	軽・軽	H=1.4m
1-1-6	べた基礎	軽・軽	H=1.6m	2-1-6	布基礎	軽・軽	H=1.6m
1-1-7	べた基礎	軽・軽	H=1.8m	2-1-7	布基礎	軽・軽	H=1.8m
1-1-8	べた基礎	軽・軽	H=2.0m	2-1-8	布基礎	軽・軽	H=2.0m
1-2-1	べた基礎	瓦・重	H=0.6m	2-2-1	布基礎	瓦・重	H=0.6m
1-2-2	べた基礎	瓦・重	H=0.8m	2-2-2	布基礎	瓦・重	H=0.8m
1-2-3	べた基礎	瓦・重	H=1.0m	2-2-3	布基礎	瓦・重	H=1.0m
1-2-4	べた基礎	瓦・重	H=1.2m	2-2-4	布基礎	瓦・重	H=1.2m
1-2-5	べた基礎	瓦・重	H=1.4m	2-2-5	布基礎	瓦・重	H=1.4m
1-2-6	べた基礎	瓦・重	H=1.6m	2-2-6	布基礎	瓦・重	H=1.6m
1-2-7	べた基礎	瓦・重	H=1.8m	2-2-7	布基礎	瓦・重	H=1.8m
1-2-8	べた基礎	瓦・重	H=2.0m	2-2-8	布基礎	瓦・重	H=2.0m

3. がけ面に平行な軸組みの間隔（ $L$ ）は、 $L = 4.55\text{m}$ で算出しています。 $L \leq 4.55\text{m}$ の条件内では使えますが、 $L > 4.55\text{m}$ の場合は、別途計算が必要となります。

4. 立ち下げ基礎地盤の所要地耐力（ $Q_a$ ）については、 $Q_a = 50\text{ kN/m}^2$ の場合と、（ ）書きの  $Q_a = 40\text{ kN/m}^2$ の2種類が用意されています。地盤調査結果等により、使い分けて下さい。

また、自然がけに近接して、直接基礎による立ち下げを設ける場合には、平らな地盤の応力度と斜面の影響を受ける基礎地盤の許容応力度との比（ ）を用いて低減する必要があります。

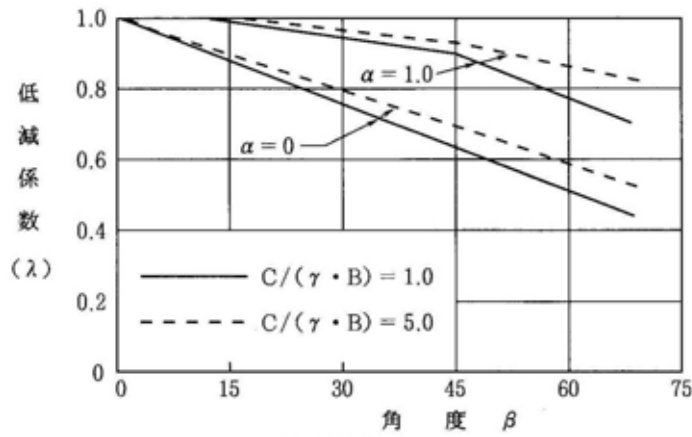
標準図には、参考として、 $\alpha = 0.6$  {例  $\alpha = 5^\circ \sim 10^\circ$ 程度,  $\alpha = 0, C/(\gamma \cdot B) = 1.0$ }の場合の $Q_a'$ の値を記載してあります。

詳細は、「横浜市斜面地建築物技術指針」5.3 斜面上の直接基礎の支持力 に解説されています。裏面に、「斜面の影響による地盤の許容応力度の低減係数 の計算図表」がありますので、参考にして下さい。なお、図中の  $\alpha$ としては、斜面の表層崩壊が生じた場合等も考慮して設定する必要があり、一般的には安定角度線（ $\alpha$ ）を用います。

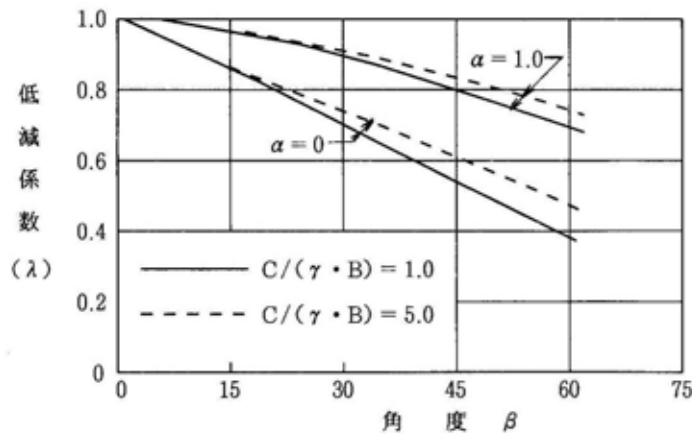
既存擁壁の場合には、『既存擁壁外観チェックシート』等の結果を参考とし、必要に応じ低減して下さい。

$$Q_a' = Q_a$$

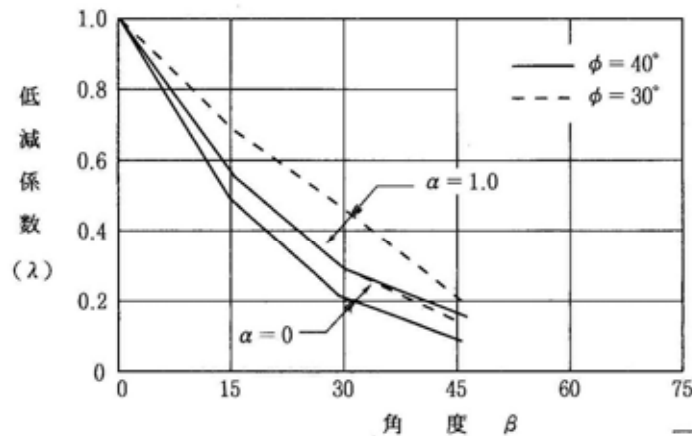
ここに、 $Q_a'$  : 斜面の影響を受ける基礎地盤の許容応力度  
 $\lambda$  : 斜面の影響による地盤の許容応力度の低減係数 (下図)  
 $Q_a$  : 基礎地盤の許容応力度



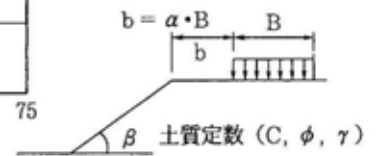
(a) 粘性土 ( $\phi = 0$ )



(b) 粘性土 ( $\phi = 10^\circ$ )



(c) 砂質土 ( $C = 0.5 \text{ t/m}^2$ )



- B : 載荷幅 (m)
- $\beta$  : 斜面勾配
- $\alpha$  : 斜面肩幅/基礎幅
- C : 土の粘着力 (t/m<sup>2</sup>)
- $\phi$  : 土の内部摩擦角 (°)
- $\gamma$  : 土の単位体積重量 (t/m<sup>3</sup>)

斜面の影響による地盤の許容応力度の低減係数の計算図表(「横浜市斜面地建築物技術指針」より)はがけの安定角とする。

1-1-1 【べた・軽・軽 - 0.6m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=0.6m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...軽(スレート葺等)、外壁材...軽(サイディング)

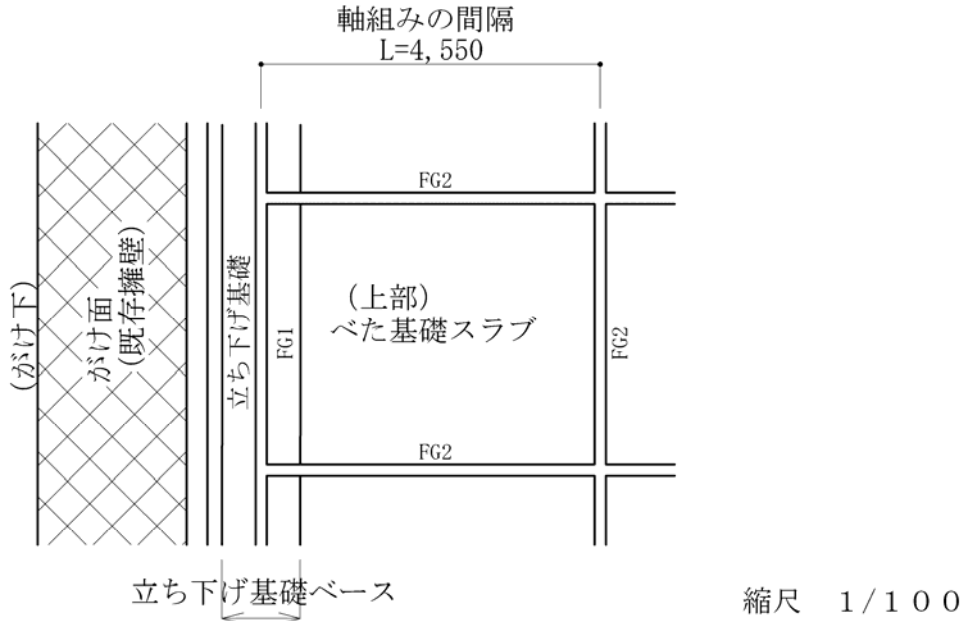
上部基礎形式:べた基礎 がけの安定角度線:  $\alpha = 45^\circ$  がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( $\alpha = 1.0$ ) :  $Q_a = 50$  (40)  $\text{kN/m}^2$

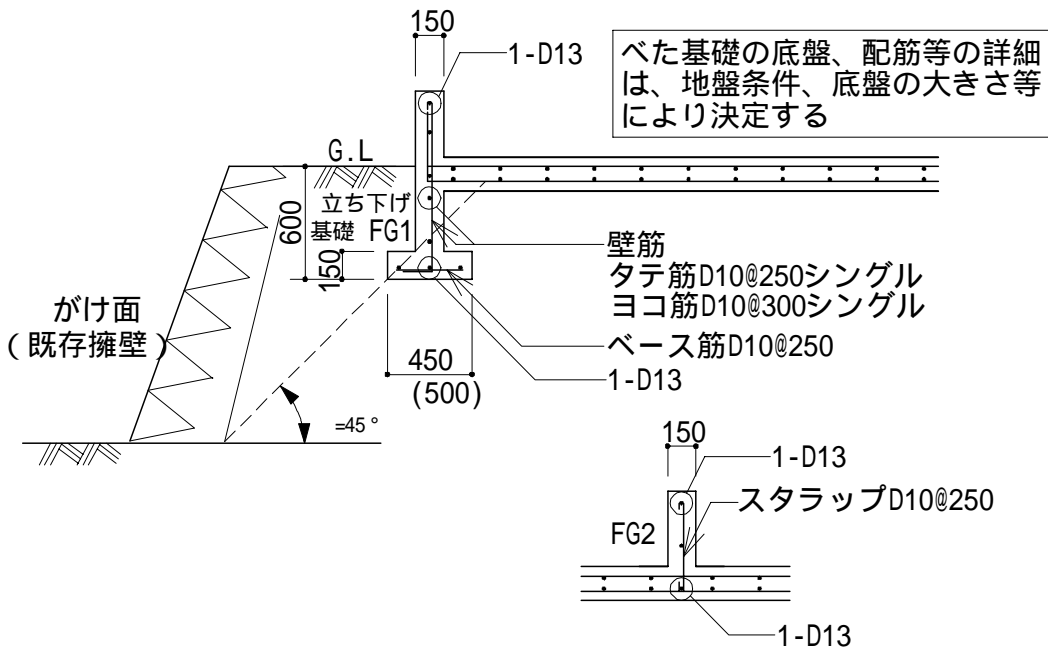
但し、: 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( $\alpha = 0.6$ の場合) :  $Q_a' = 84$  (67)  $\text{kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



( )内は所要地耐力40k N/m<sup>2</sup>の場合 縮尺 1/40

1-1-2 【べた・軽・軽 - 0.8m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=0.8m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...軽(スレート葺等)、外壁材...軽(サイディング)

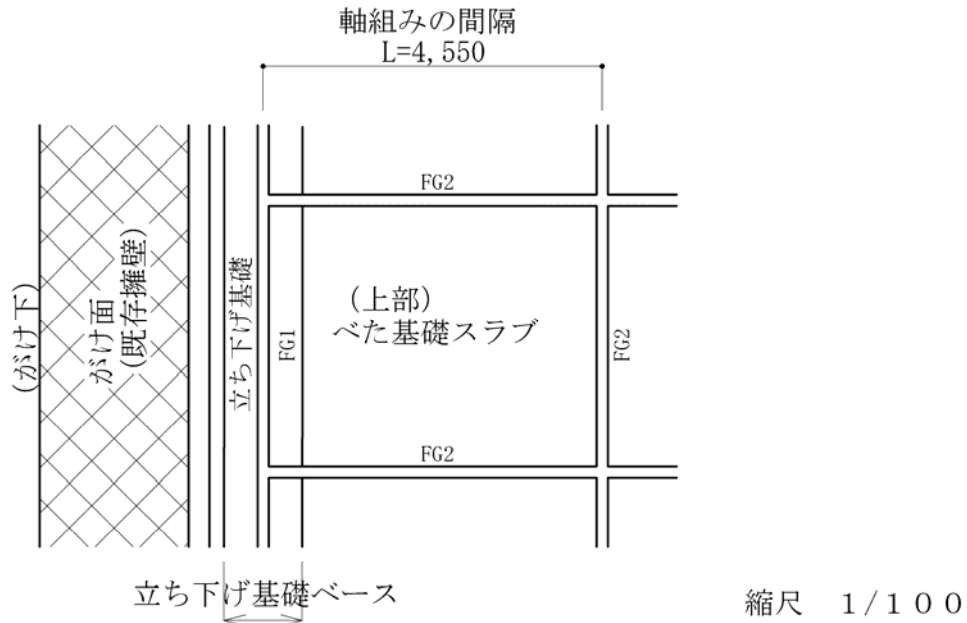
上部基礎形式:べた基礎 がけの安定角度線:  $\alpha = 45^\circ$  がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( $\alpha = 1.0$ ) :  $Q_a = 50$  (40)  $\text{kN/m}^2$

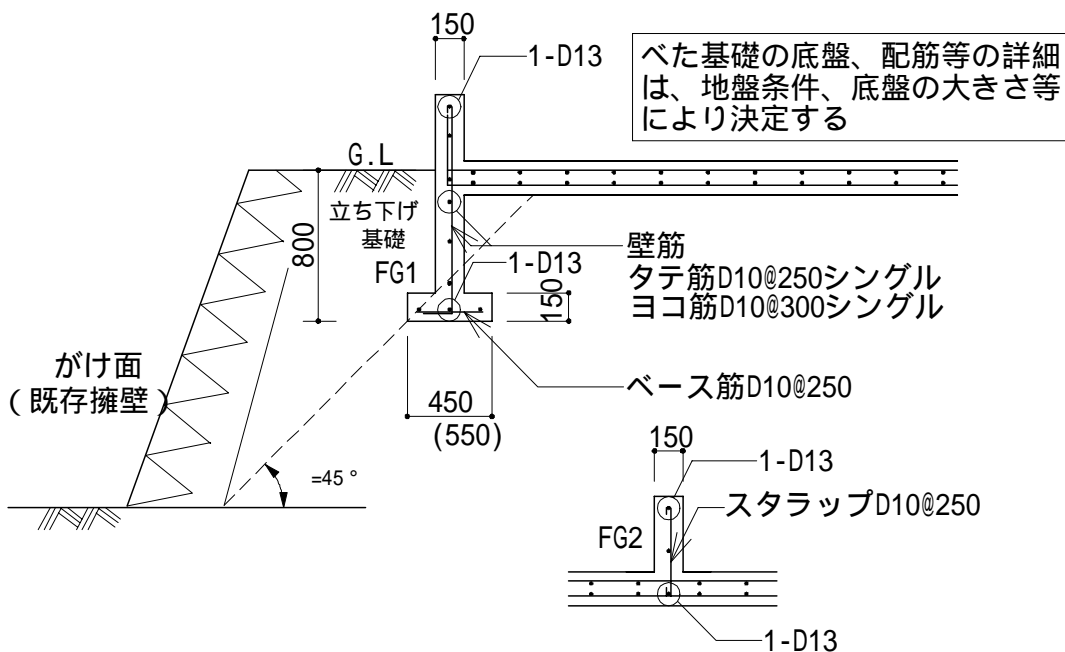
但し、: 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( $\alpha = 0.6$ の場合) :  $Q_a' = 84$  (67)  $\text{kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



( )内は所要地耐力40  $\text{kN/m}^2$ の場合 縮尺 1/40

1-1-3 【べた・軽・軽 - 1.0m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=1.0m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...軽(スレート葺等)、外壁材...軽(サイディング)

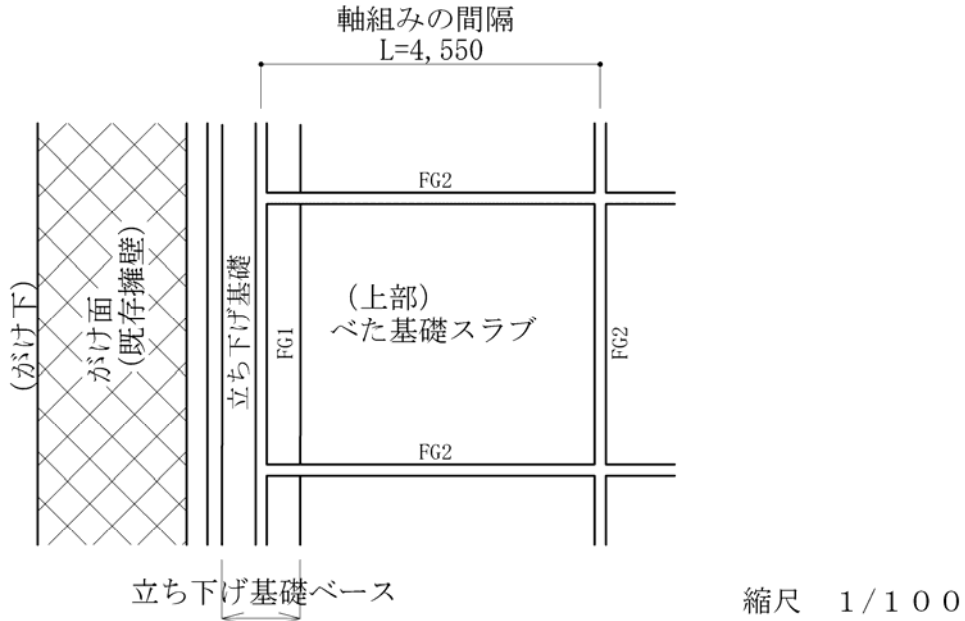
上部基礎形式:べた基礎 がけの安定角度線:  $\alpha = 45^\circ$  がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( $\alpha = 1.0$ ) :  $Q_a = 50$  (40)  $\text{kN/m}^2$

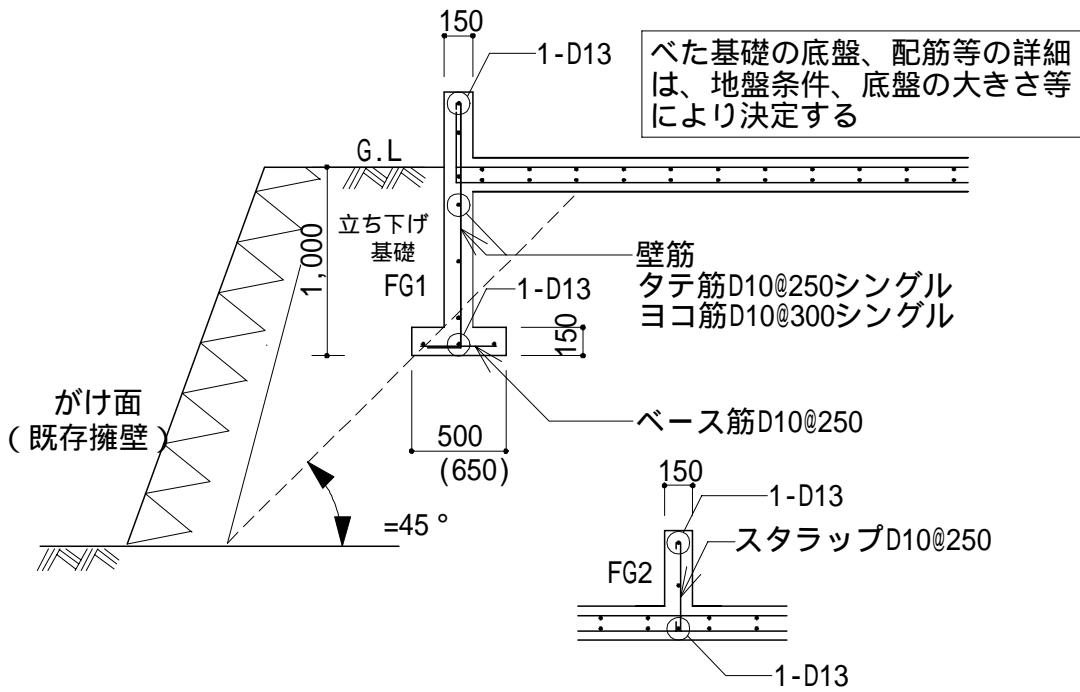
但し、: 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( $\alpha = 0.6$ の場合) :  $Q_a' = 84$  (67)  $\text{kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



( )内は所要地耐力40  $\text{kN/m}^2$ の場合 縮尺 1/40

1-1-4 【べた・軽・軽 - 1.2m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=1.2m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...軽(スレート葺等)、外壁材...軽(サイディング)

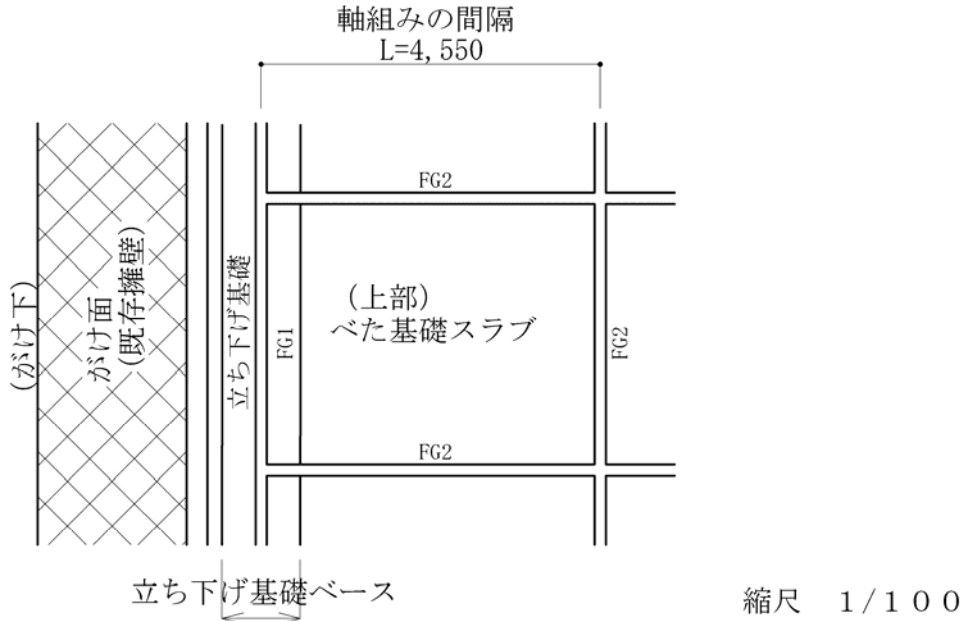
上部基礎形式:べた基礎 がけの安定角度線:  $\alpha = 45^\circ$  がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( $\alpha = 1.0$ ) :  $Q_a = 50$  (40)  $\text{kN/m}^2$

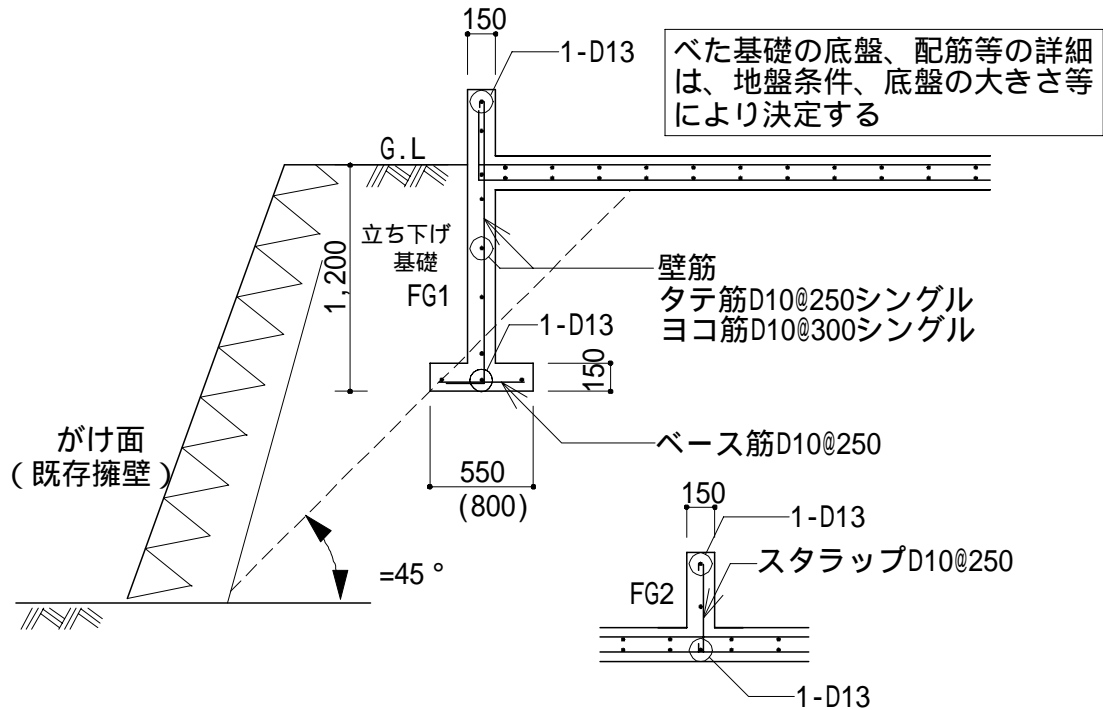
但し、 $\alpha$ : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( $\alpha = 0.6$ の場合) :  $Q_a' = 84$  (67)  $\text{kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



( )内は所要地耐力40  $\text{kN/m}^2$ の場合 縮尺 1/40

1-1-5 【べた・軽・軽 - 1.4m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=1.4m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...軽(スレート葺等)、外壁材...軽(サイディング)

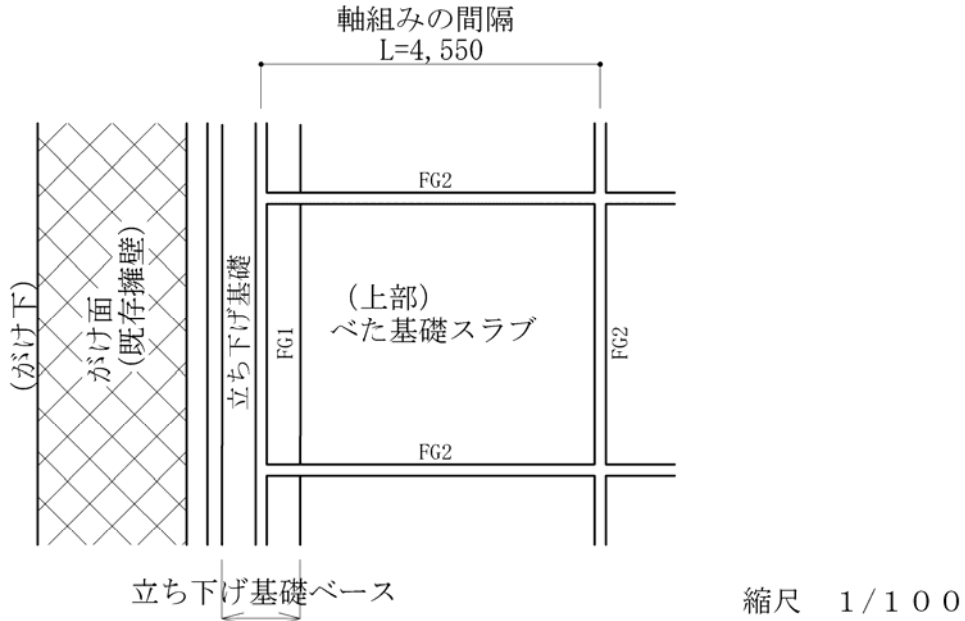
上部基礎形式:べた基礎 がけの安定角度線:  $\alpha = 45^\circ$  がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( $\alpha = 1.0$ ) :  $Q_a = 50$  (40)  $\text{kN/m}^2$

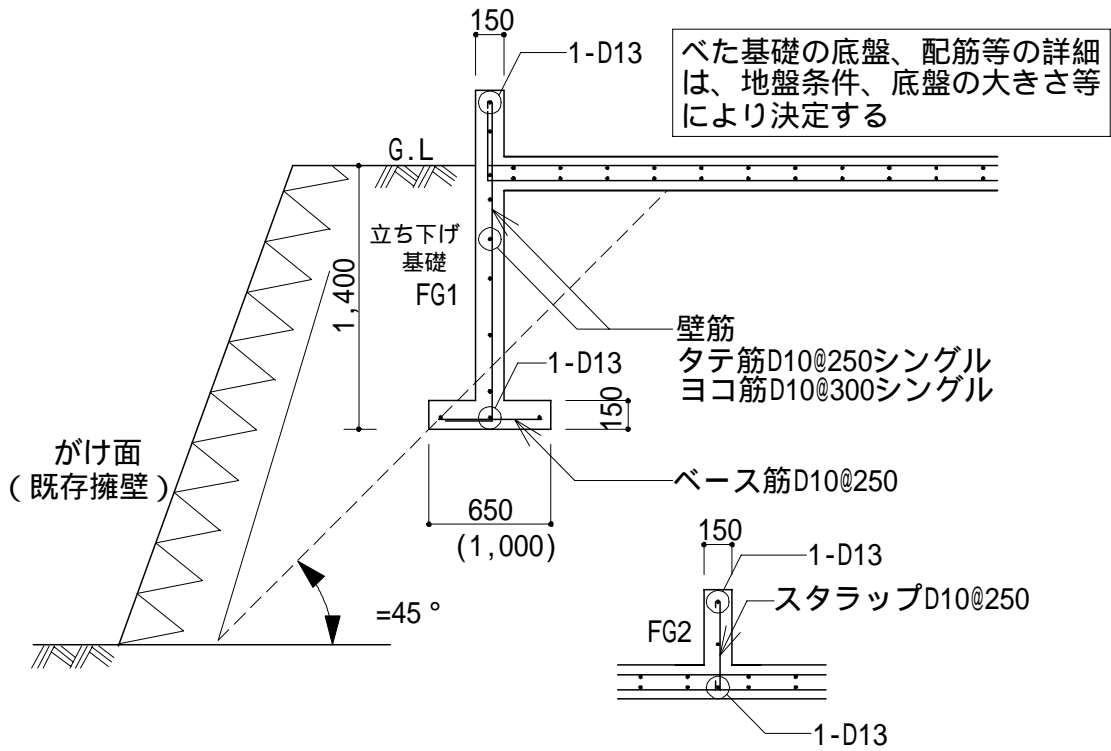
但し、: 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( $\alpha = 0.6$ の場合) :  $Q_a' = 84$  (67)  $\text{kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



( )内は所要地耐力40  $\text{kN/m}^2$ の場合 縮尺 1/40



1-1-6 【べた・軽・軽 - 1.6m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=1.6m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...軽(スレート葺等)、外壁材...軽(サイディング)

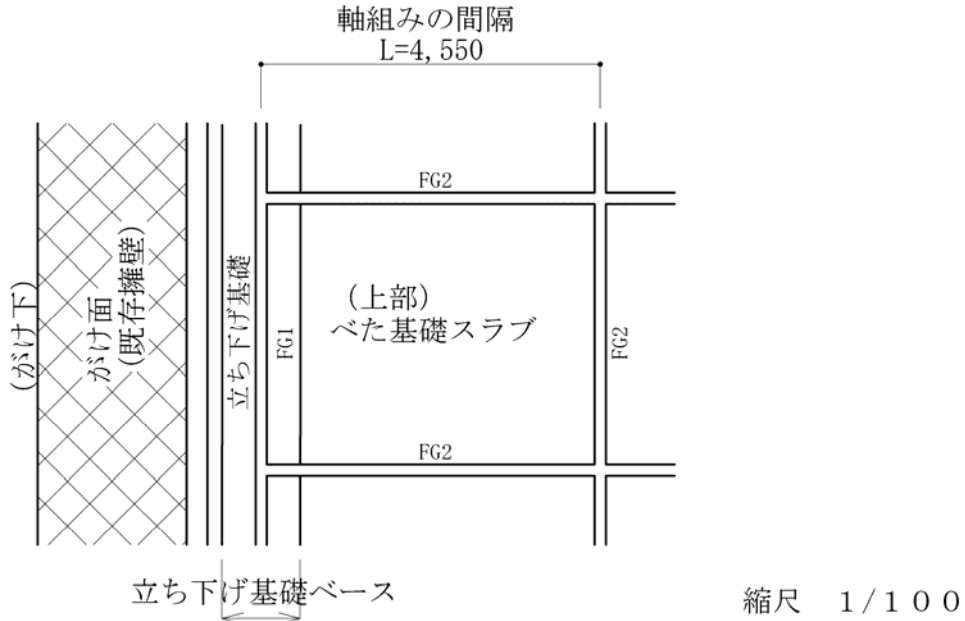
上部基礎形式:べた基礎 がけの安定角度線: = 45° がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( = 1.0) :  $Q_a = 50 \text{ kN/m}^2$

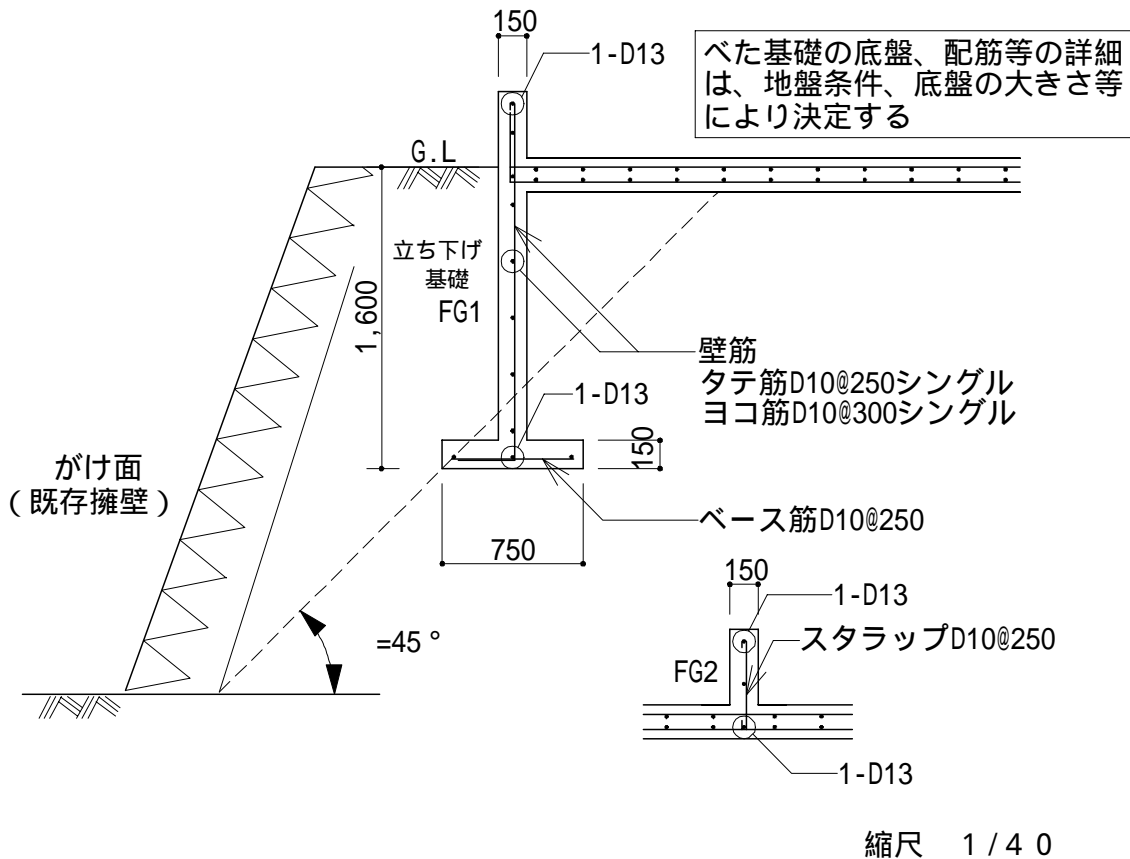
但し、 : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( = 0.6の場合) :  $Q_{a'} = 84 \text{ kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



1-1-7 【べた・軽・軽 - 1.8m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=1.8m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...軽(スレート葺等)、外壁材...軽(サイディング)

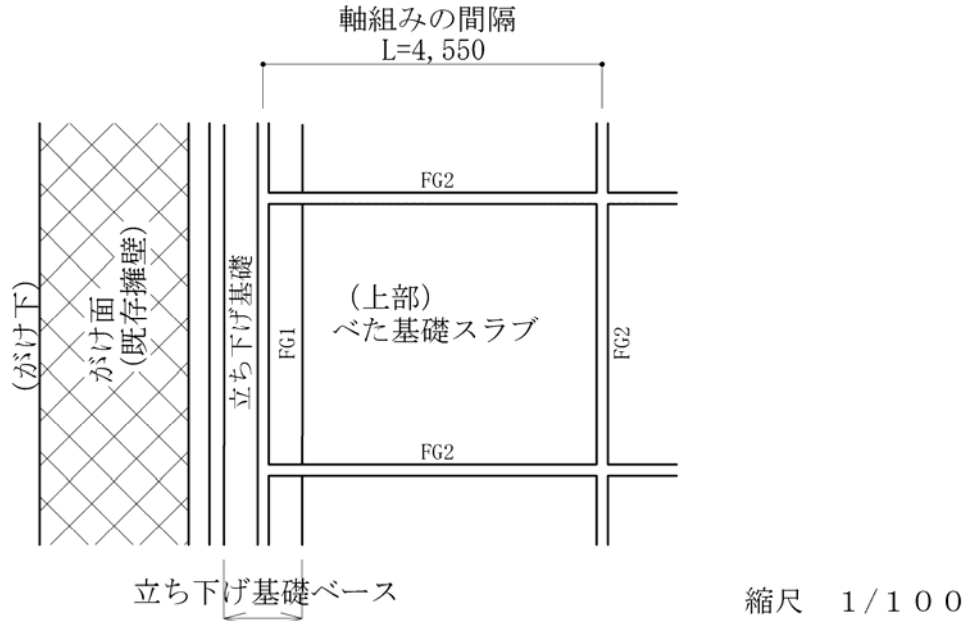
上部基礎形式:べた基礎 がけの安定角度線: = 45° がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( = 1.0) :  $Q_a = 50 \text{ kN/m}^2$

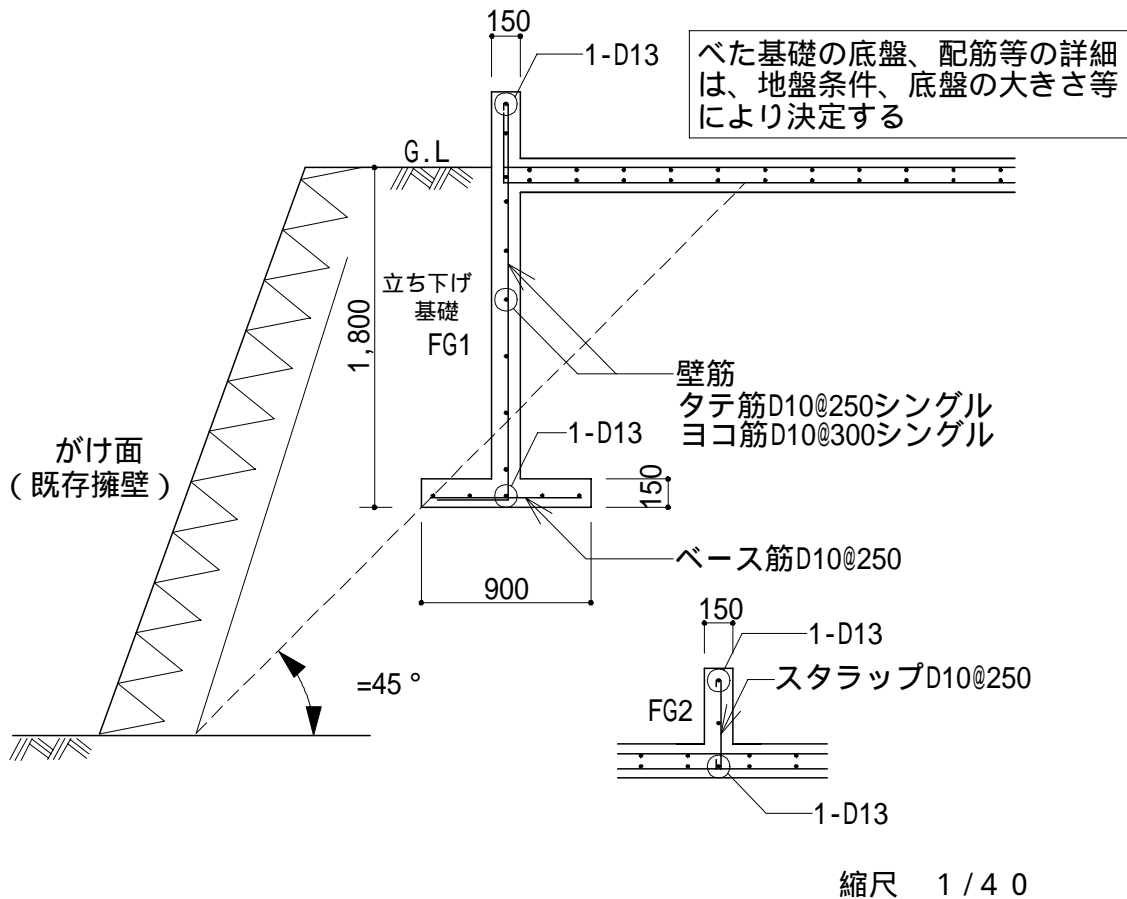
但し、 : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( = 0.6の場合) :  $Q_a' = 84 \text{ kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



1-1-8 【べた・軽・軽・2.0m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=2.0m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...軽(スレート葺等)、外壁材...軽(サイディング)

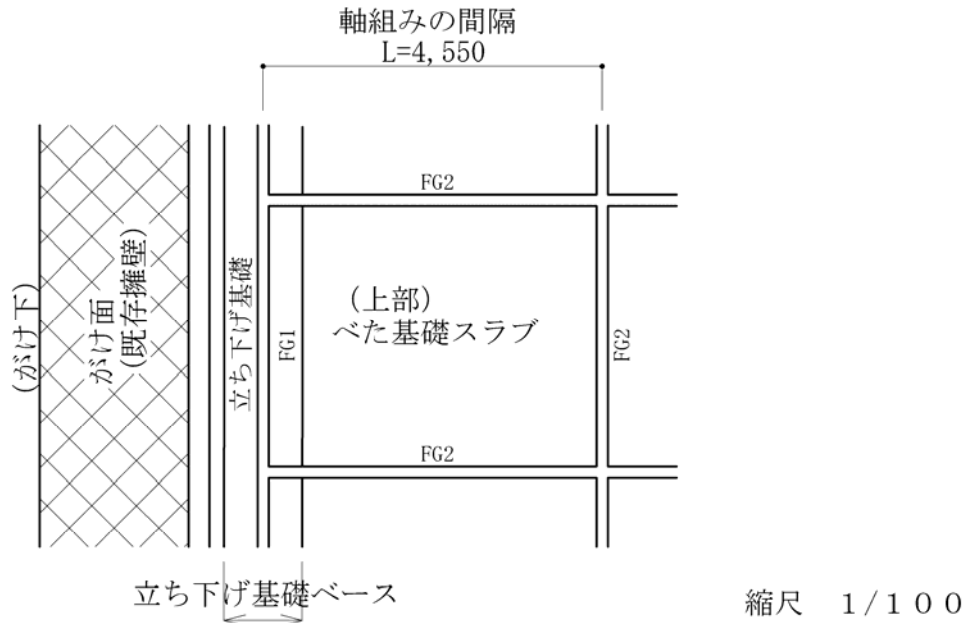
上部基礎形式:べた基礎 がけの安定角度線: = 45° がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( = 1.0) :  $Q_a = 50 \text{ kN/m}^2$

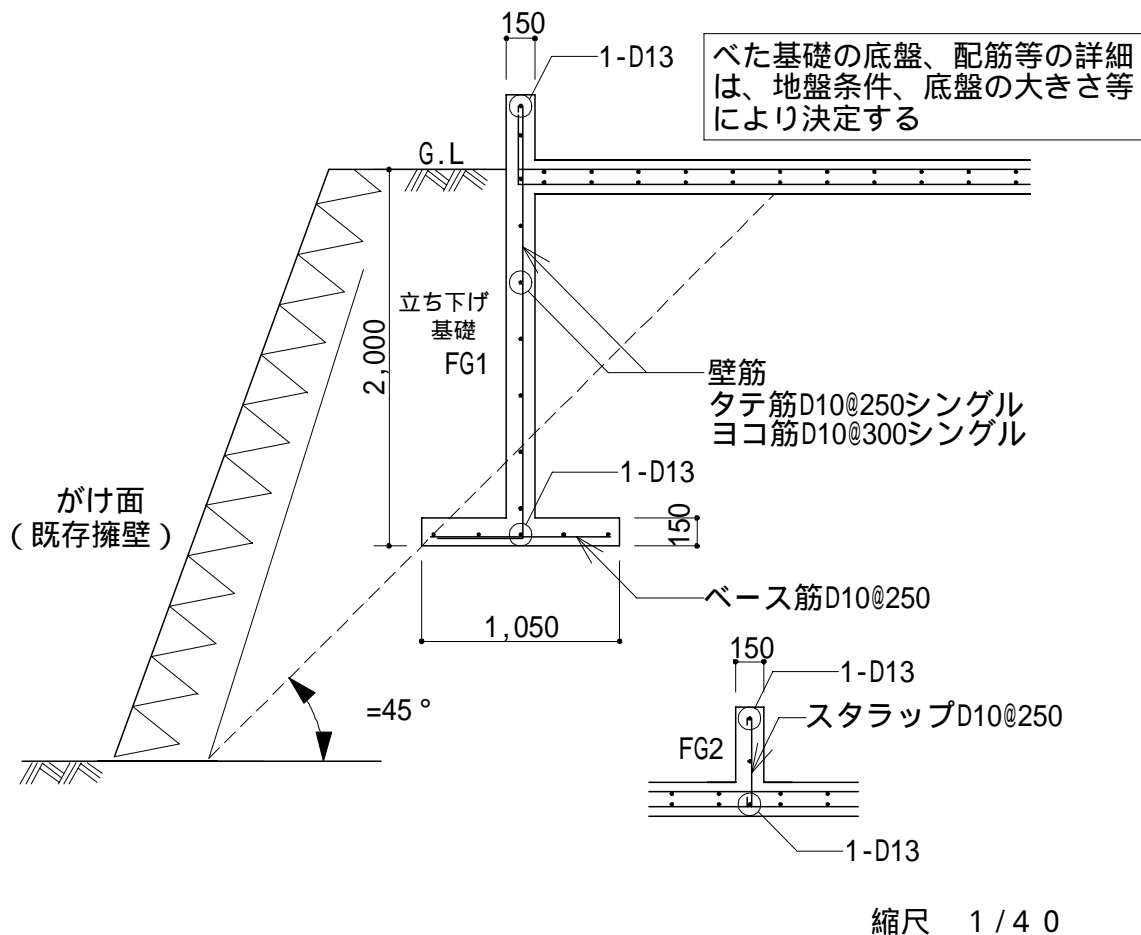
但し、 : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( = 0.6の場合) :  $Q_a' = 84 \text{ kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



1 - 2 - 1 【べた - 瓦・重 - 0.6m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=0.6m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...瓦(ふき土なし)、外壁材...重(モルタル、タイル)

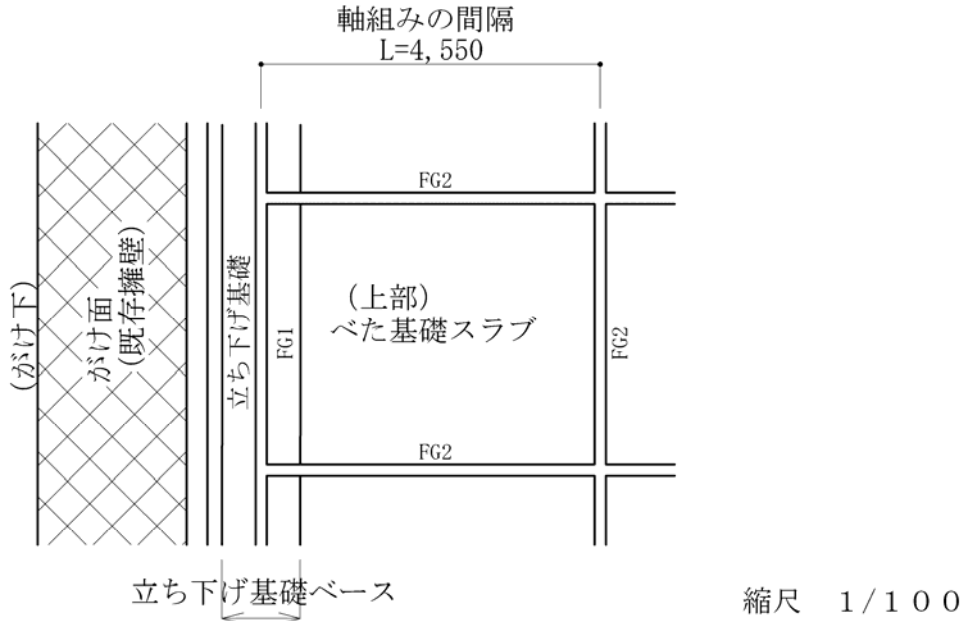
上部基礎形式:べた基礎 がけの安定角度線: = 45° がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( = 1.0) :  $Q_a = 50$  (40)  $\text{kN/m}^2$

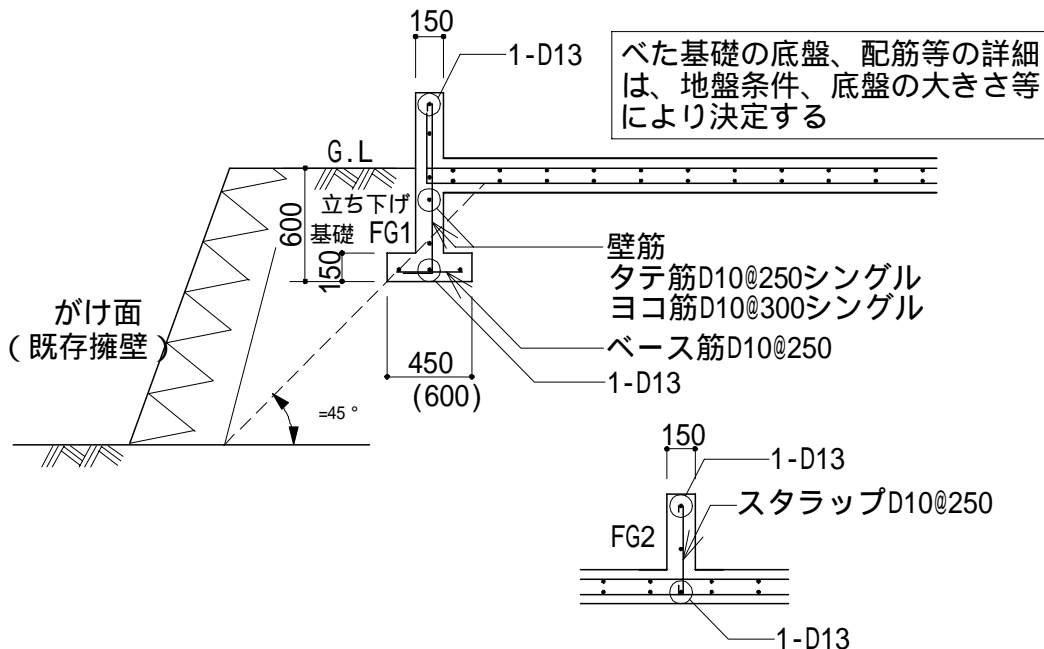
但し、 : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( = 0.6の場合) :  $Q_a' = 84$  (67)  $\text{kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



( )内は所要地耐力40  $\text{kN/m}^2$ の場合 縮尺 1/40

1 - 2 - 2 【べた - 瓦・重 - 0.8m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=0.8m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...瓦(ふき土なし)、外壁材...重(モルタル、タイル)

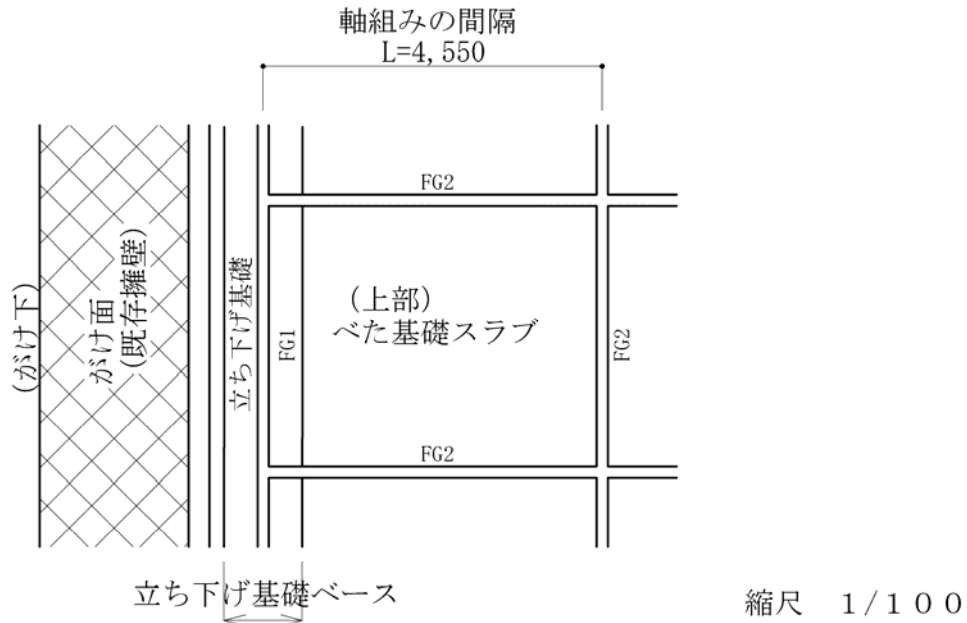
上部基礎形式:べた基礎 がけの安定角度線: = 45° がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( = 1.0) :  $Q_a = 50$  (40)  $\text{kN/m}^2$

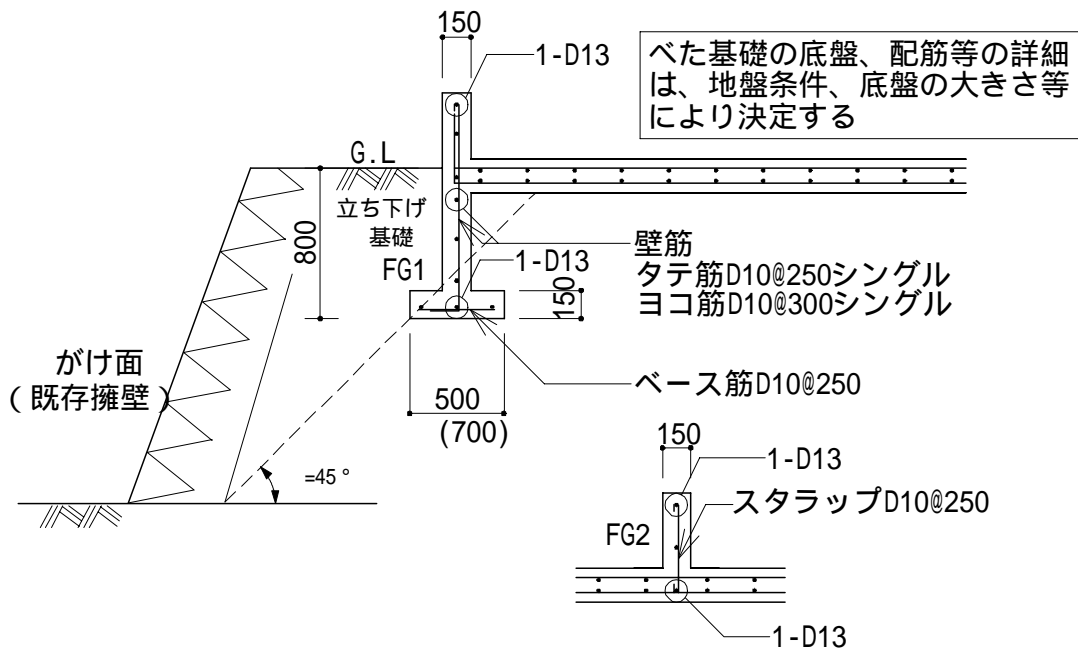
但し、 : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( = 0.6の場合) :  $Q_a' = 84$  (67)  $\text{kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



( )内は所要地耐力40k N/m<sup>2</sup>の場合 縮尺 1/40

1 - 2 - 3 【べた - 瓦・重 - 1.0 m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=1.0m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...瓦(ふき土なし)、外壁材...重(モルタル、タイル)

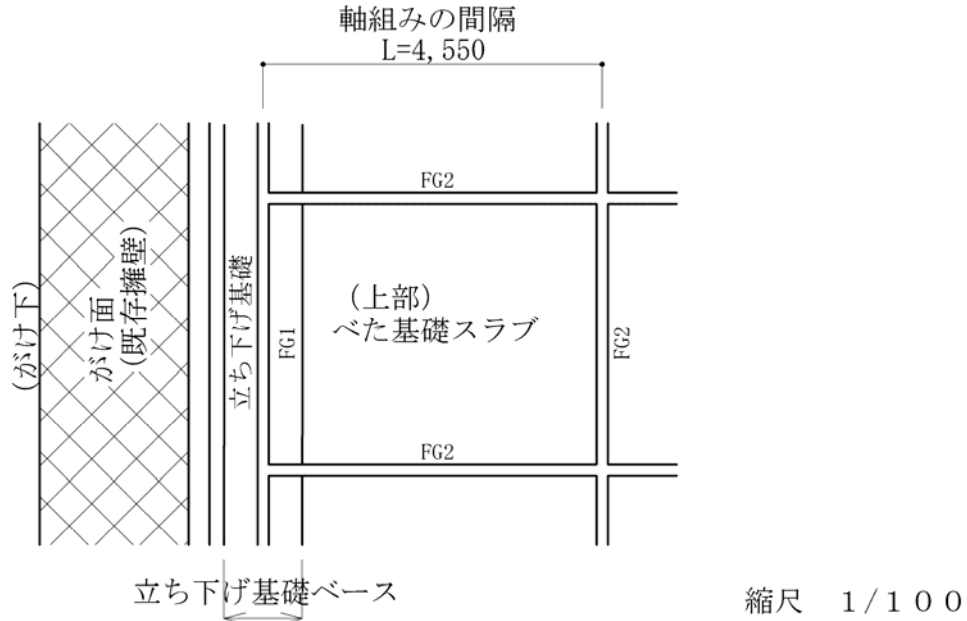
上部基礎形式:べた基礎 がけの安定角度線:  $\theta = 45^\circ$  がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( $\theta = 1.0$ ) :  $Q_a = 50$  (40)  $\text{kN/m}^2$

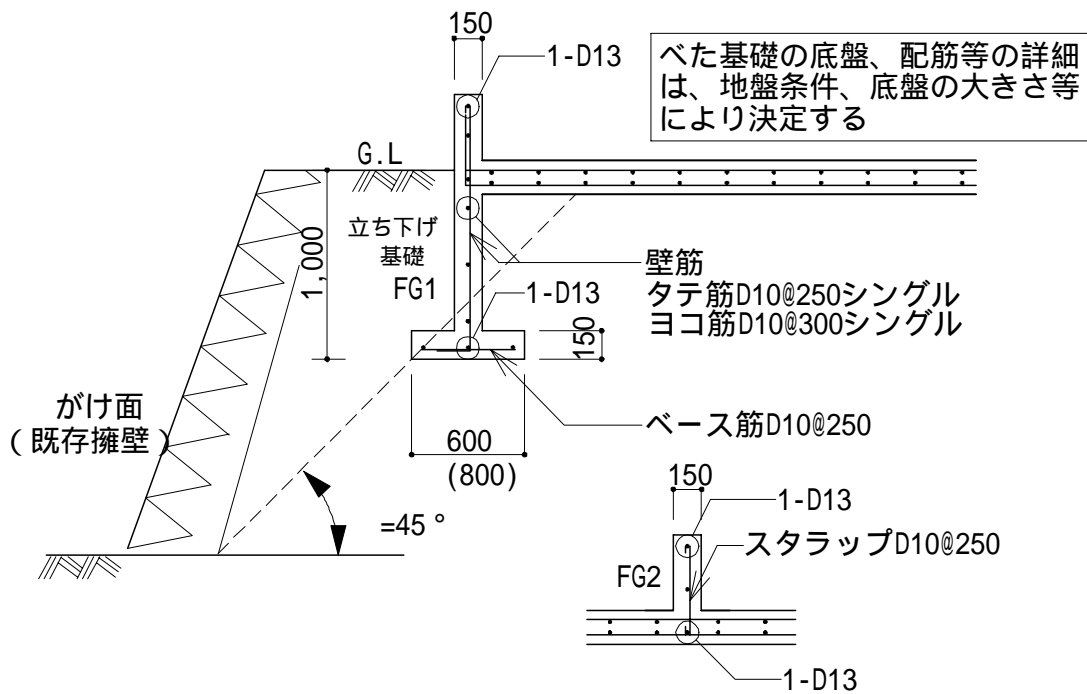
但し、: 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( $\theta = 0.6$ の場合) :  $Q_a' = 84$  (67)  $\text{kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



( )内は所要地耐力40  $\text{kN/m}^2$ の場合 縮尺 1/40

1 - 2 - 4 【べた - 瓦・重 - 1.2 m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=1.2 m)標準図

上部建築物: 木造2階建住宅 屋根材...瓦(ふき土なし)、外壁材...重(モルタル、タイル)

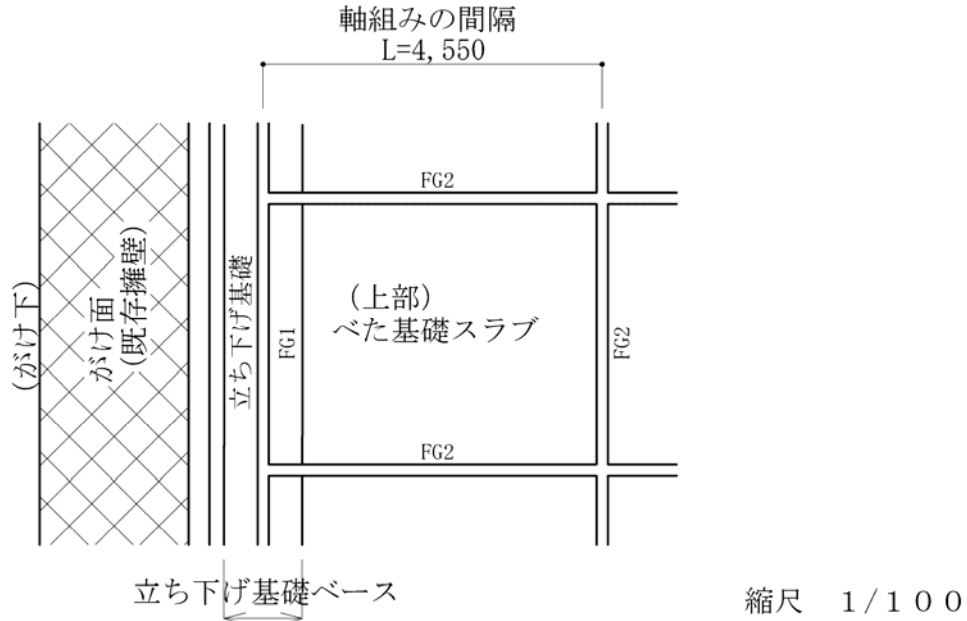
上部基礎形式: べた基礎 | がけの安定角度線:  $= 45^\circ$  | がけ面に平行な軸組みの間隔:  $L = 4.55 \text{ m}$

所要地耐力( $= 1.0$ ) :  $Q_a = 50 \text{ (40) kN/m}^2$

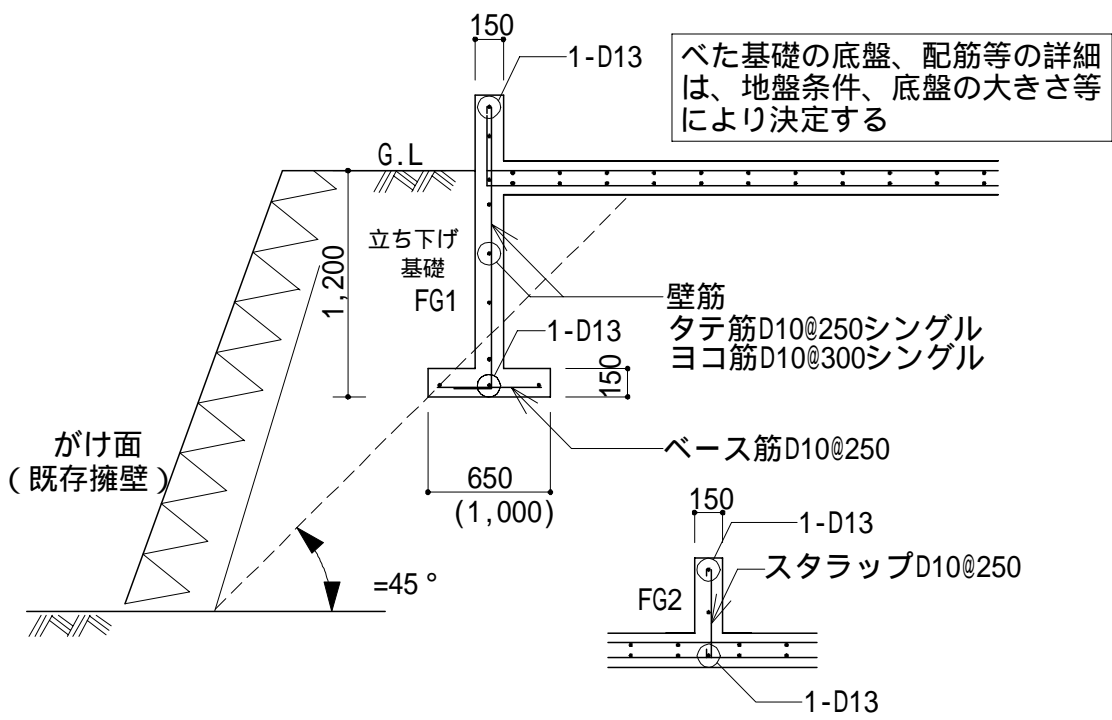
但し、: 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( $= 0.6$ の場合) :  $Q_a' = 84 \text{ (67) kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



( )内は所要地耐力40 k N/m<sup>2</sup>の場合 縮尺 1 / 4 0

1 - 2 - 5 【べた - 瓦・重 - 1.4 m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=1.4 m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...瓦(ふき土なし)、外壁材...重(モルタル、タイル)

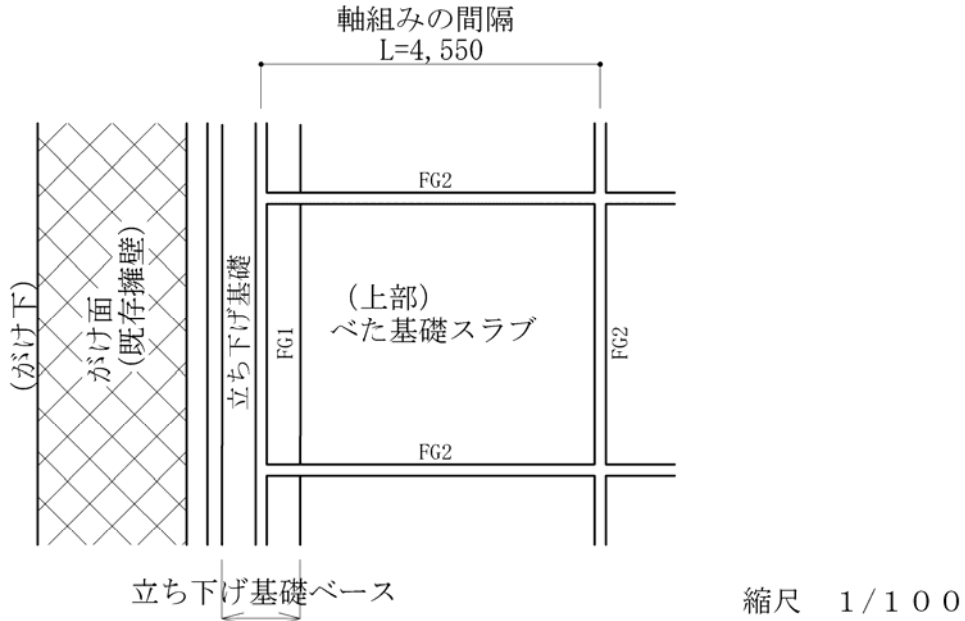
上部基礎形式:べた基礎 がけの安定角度線:  $\alpha = 45^\circ$  がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( $\alpha = 1.0$ ) :  $Q_a = 50$  (40)  $\text{kN/m}^2$

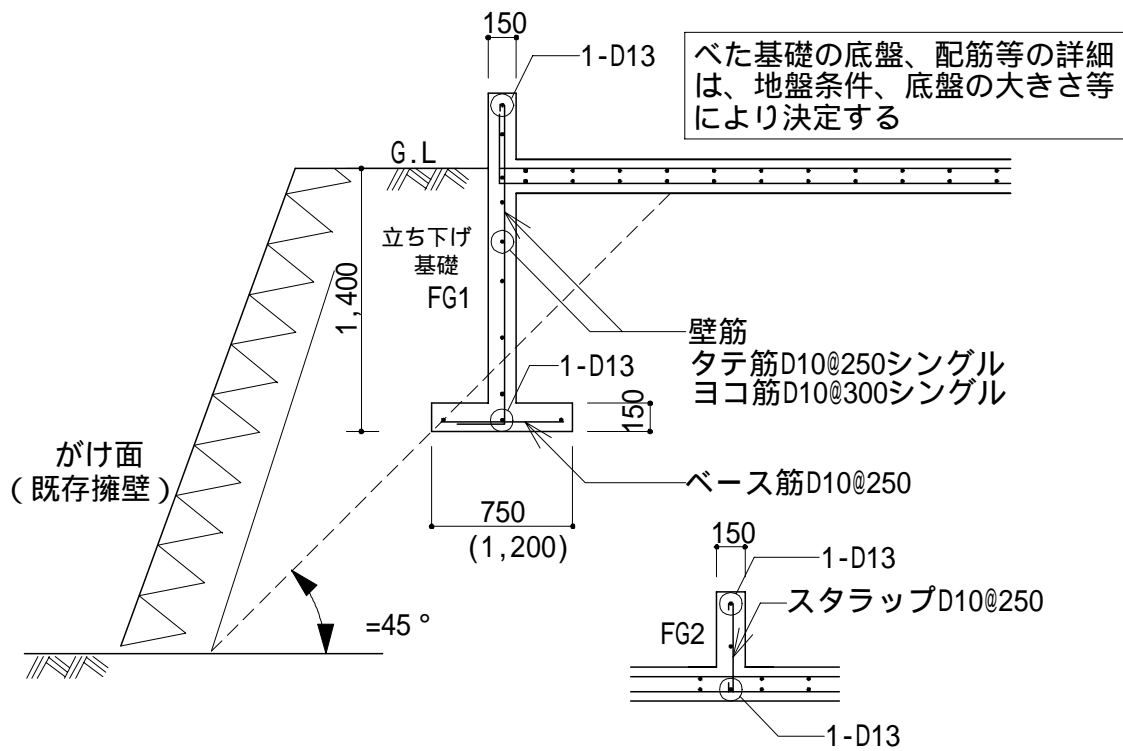
但し、 $\alpha$ : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( $\alpha = 0.6$ の場合) :  $Q_a' = 84$  (67)  $\text{kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



( )内は所要地耐力40  $\text{kN/m}^2$ の場合



1 - 2 - 6 【べた - 瓦・重 - 1.6m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=1.6m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...瓦(ふき土なし)、外壁材...重(モルタル、タイル)

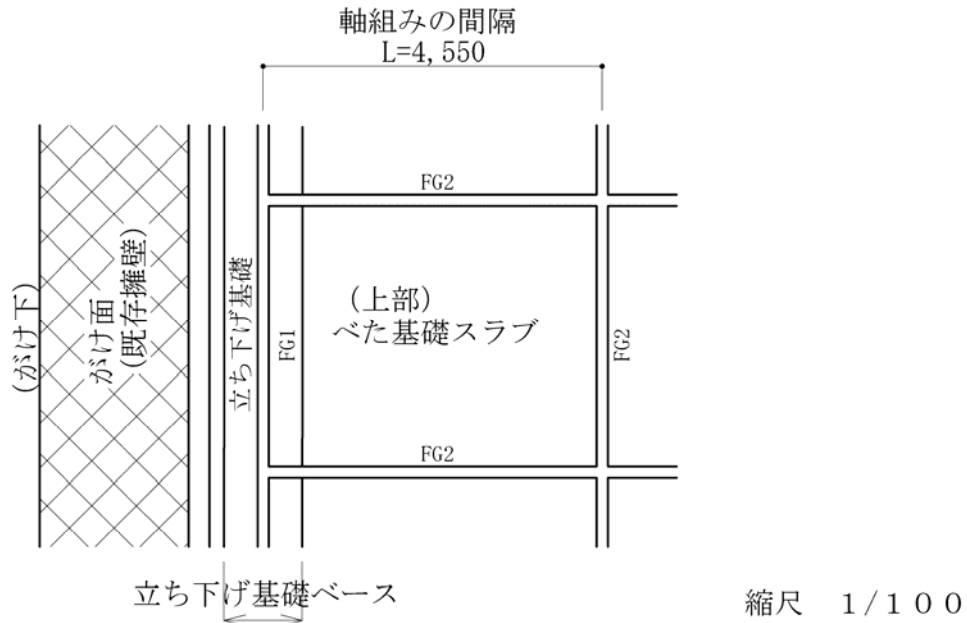
上部基礎形式:べた基礎 がけの安定角度線:  $= 45^\circ$  がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( $= 1.0$ ) :  $Q_a = 50 \text{ kN/m}^2$

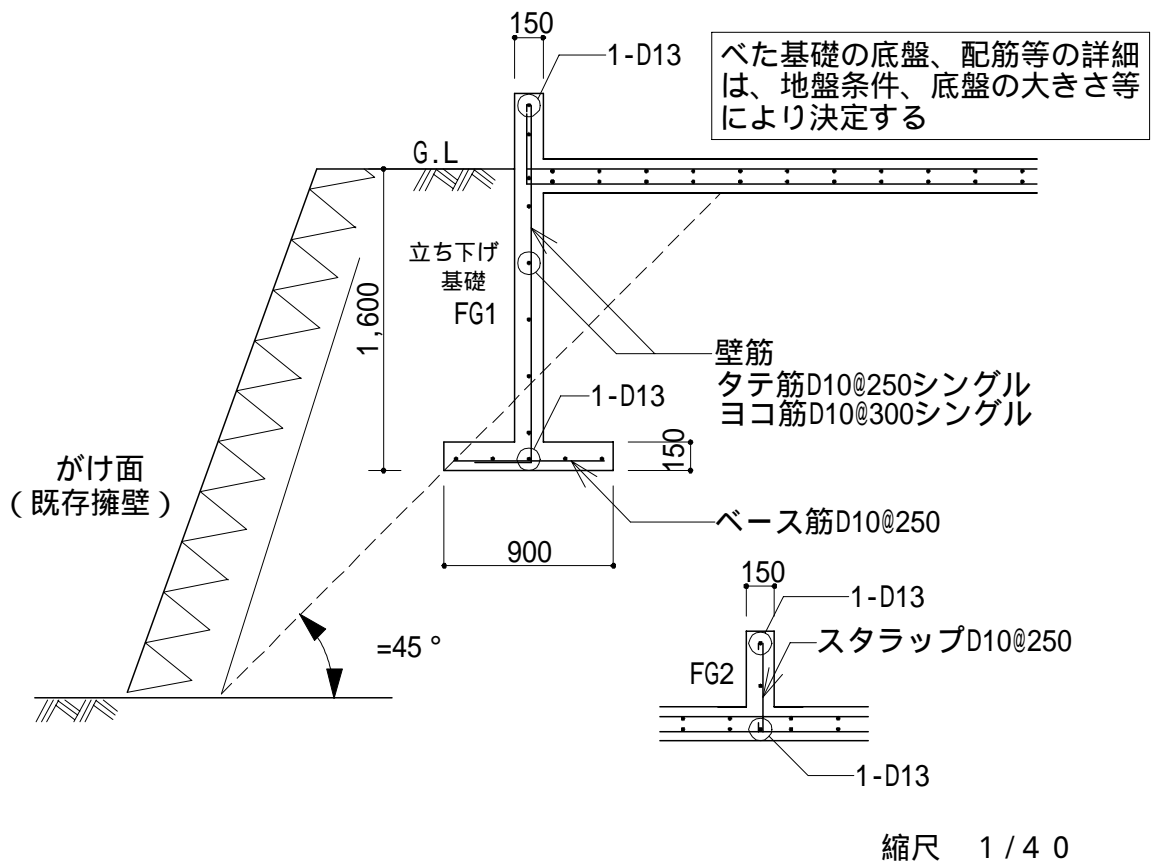
但し、: 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( $= 0.6$ の場合) :  $Q_a' = 84 \text{ kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



1 - 2 - 7 【べた - 瓦・重 - 1.8 m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H = 1.8 m)標準図

上部建築物: 木造2階建住宅 屋根材...瓦(ふき土なし)、外壁材...重(モルタル、タイル)

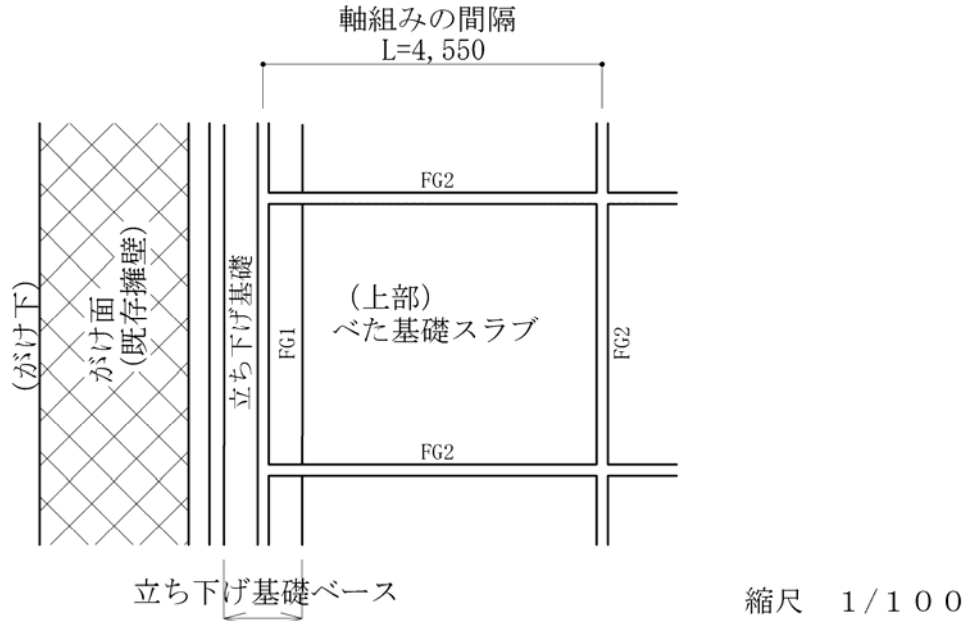
上部基礎形式: べた基礎 がけの安定角度線:  $= 45^\circ$  がけ面に平行な軸組みの間隔:  $L = 4.55 \text{ m}$

所要地耐力( $= 1.0$ ) :  $Q_a = 50 \text{ kN/m}^2$

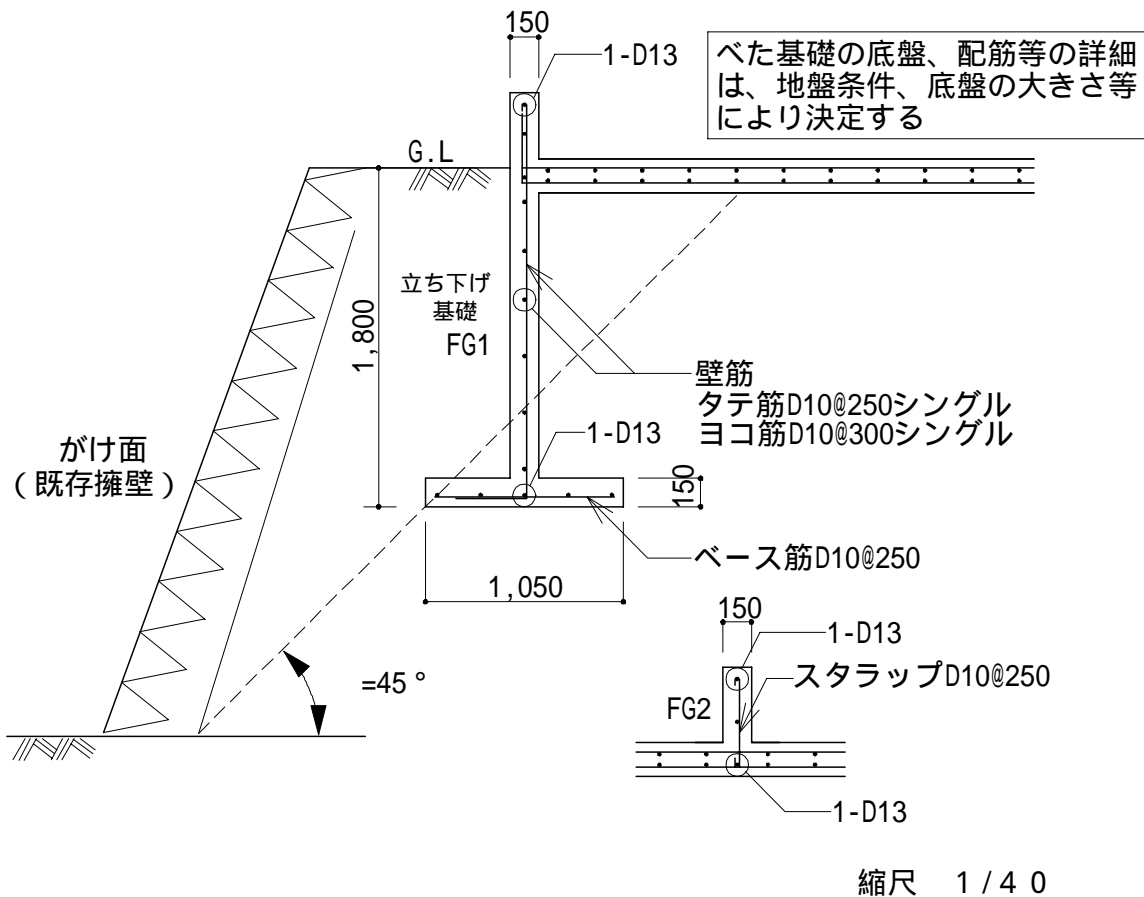
但し、: 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( $= 0.6$ の場合) :  $Q_{a'} = 84 \text{ kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



1 - 2 - 8 【べた - 瓦・重 - 2.0m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=2.0m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...瓦(ふき土なし)、外壁材...重(モルタル、タイル)

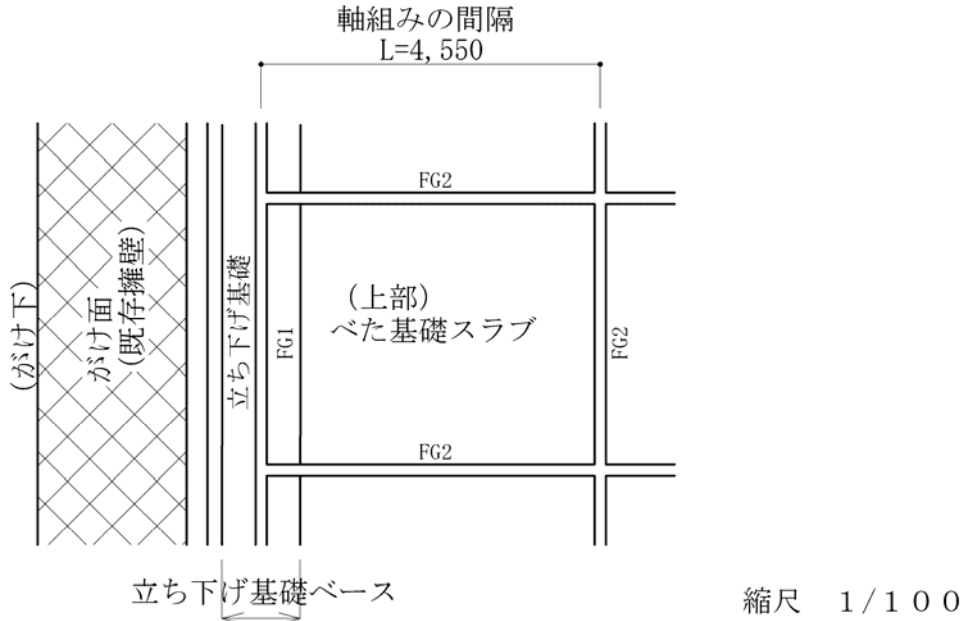
上部基礎形式:べた基礎 がけの安定角度線: = 45° がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( = 1.0) :  $Q_a = 50 \text{ kN/m}^2$

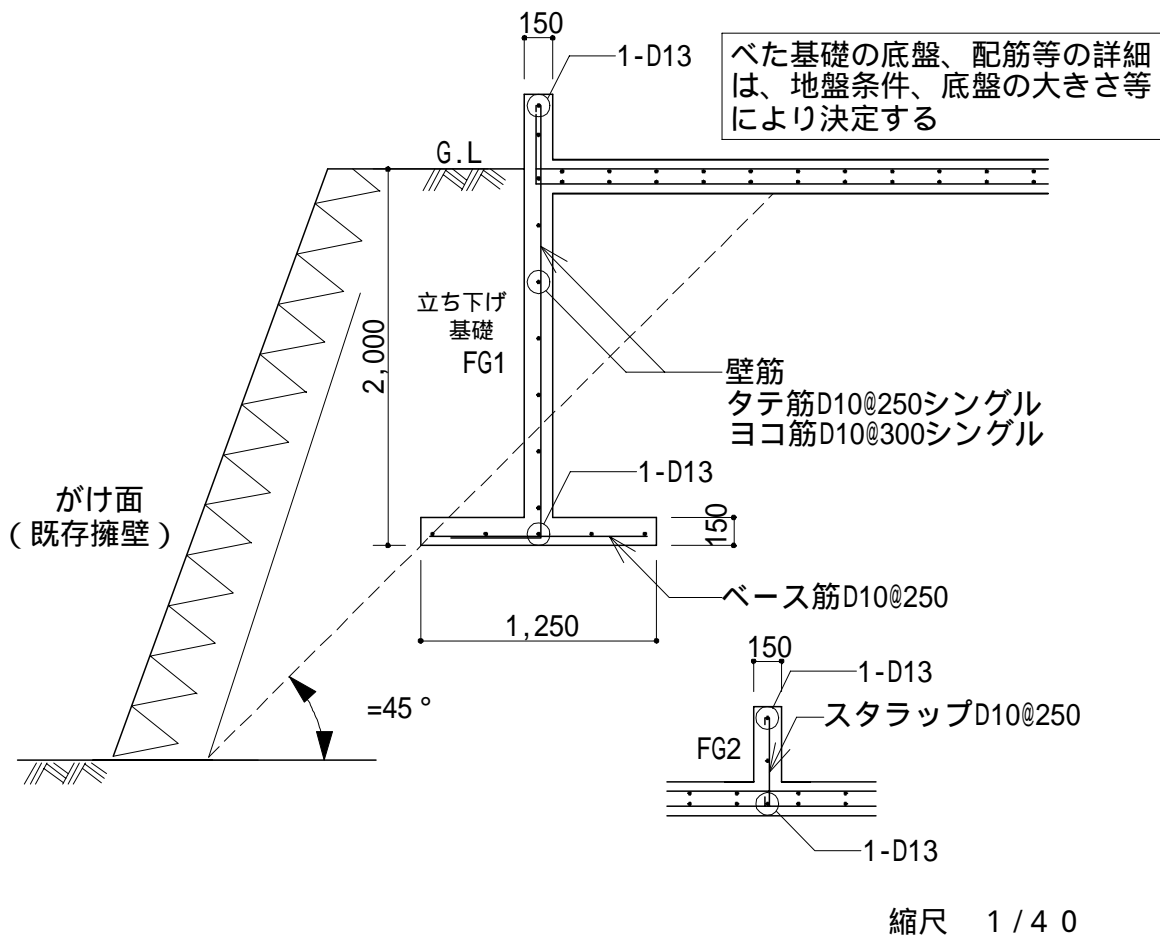
但し、 : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( = 0.6の場合) :  $Q_a' = 84 \text{ kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



2-1-1 【布・軽・軽 - 0.6m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=0.6m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...軽(スレート葺等)、外壁材...軽(サイディング)

上部基礎形式:布基礎

がけの安定角度線: = 45°

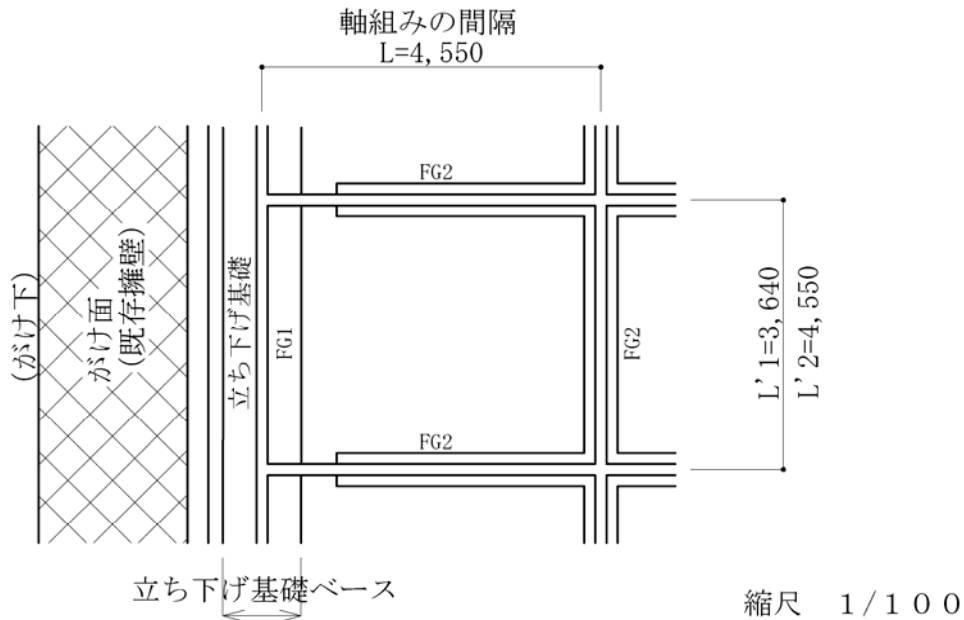
がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( = 1.0) :  $Qa = 50$  (40)  $\text{kN/m}^2$

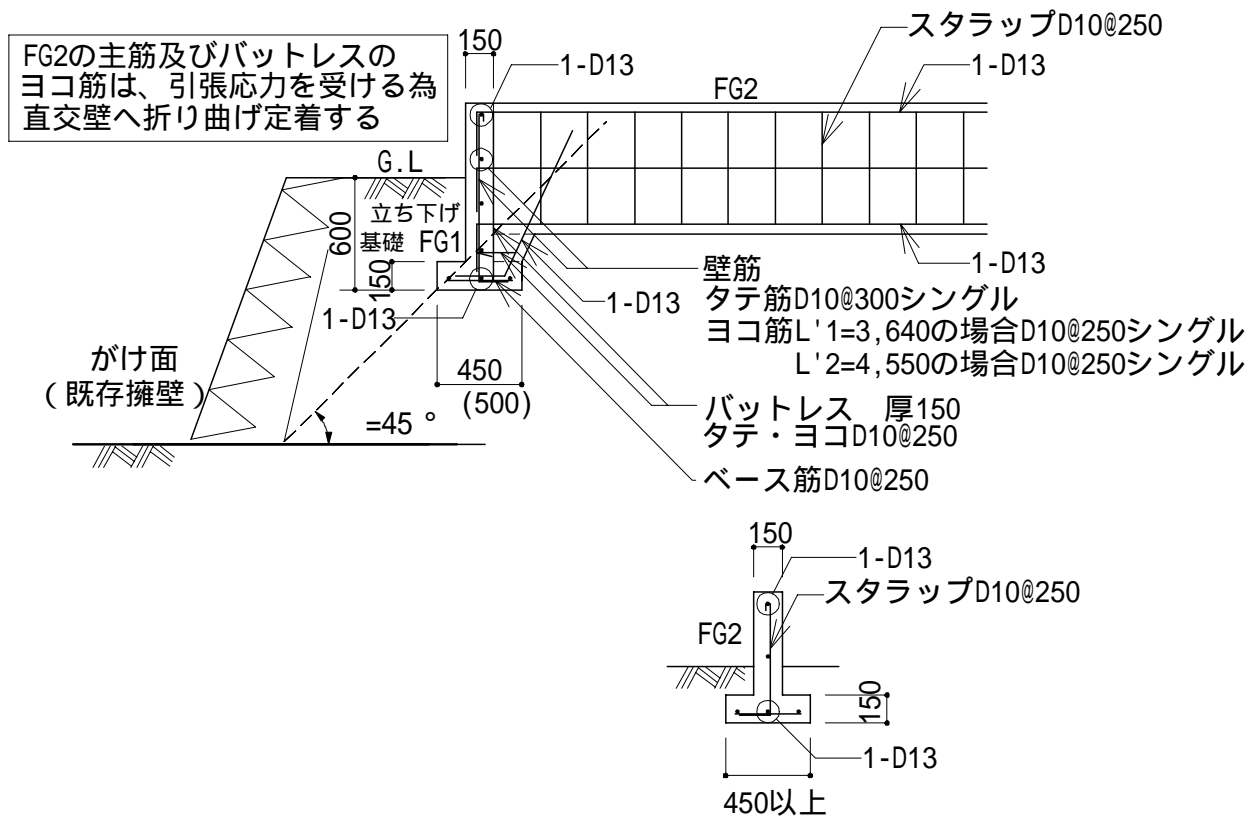
但し、 : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( = 0.6の場合) :  $Qa' = 84$  (67)  $\text{kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



( )内は所要地耐力40  $\text{kN/m}^2$ の場合

縮尺 1/40

2-1-2 【布-軽・軽-0.8m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=0.8m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...軽(スレート葺等)、外壁材...軽(サイディング)

上部基礎形式:布基礎

がけの安定角度線:  $\alpha = 45^\circ$

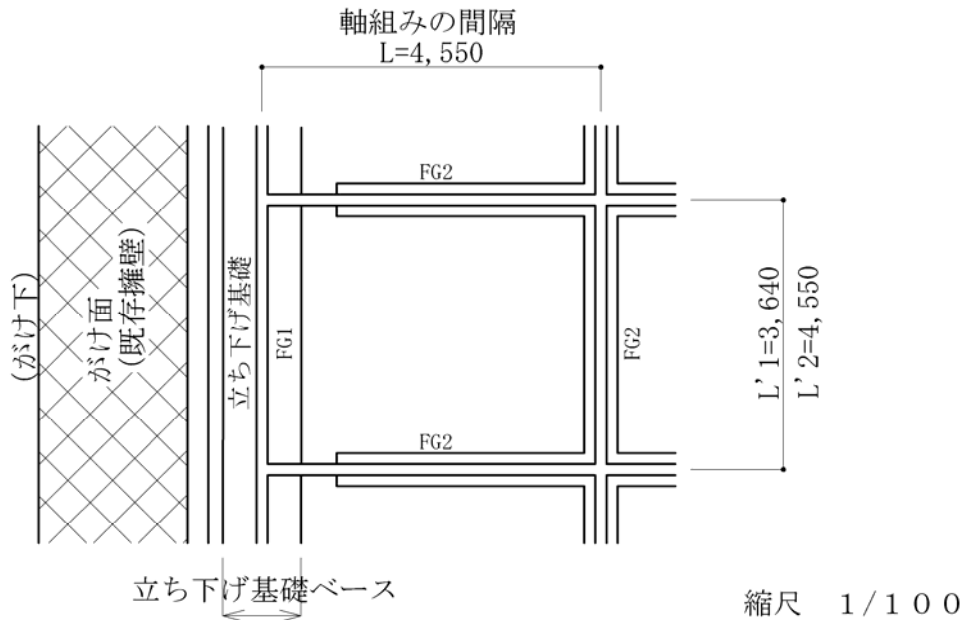
がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( $\alpha = 1.0$ ) :  $Q_a = 50$  (40)  $\text{kN/m}^2$

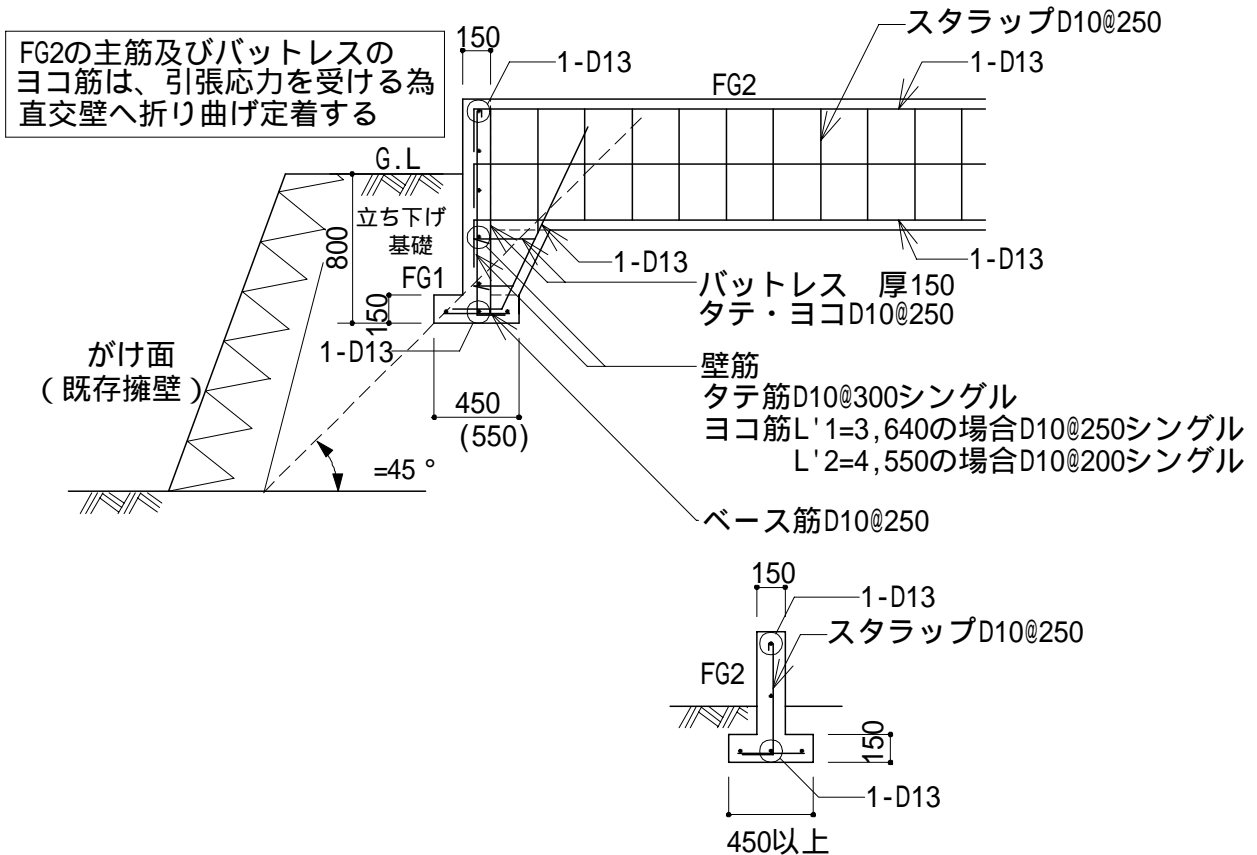
但し、 $\alpha$ : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( $\alpha = 0.6$ の場合) :  $Q_{a'} = 84$  (67)  $\text{kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



( )内は所要地耐力40  $\text{kN/m}^2$ の場合 縮尺 1/40

2-1-3 【布・軽・軽 - 1.0m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=1.0m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...軽(スレート葺等)、外壁材...軽(サイディング)

上部基礎形式:布基礎

がけの安定角度線:  $\alpha = 45^\circ$

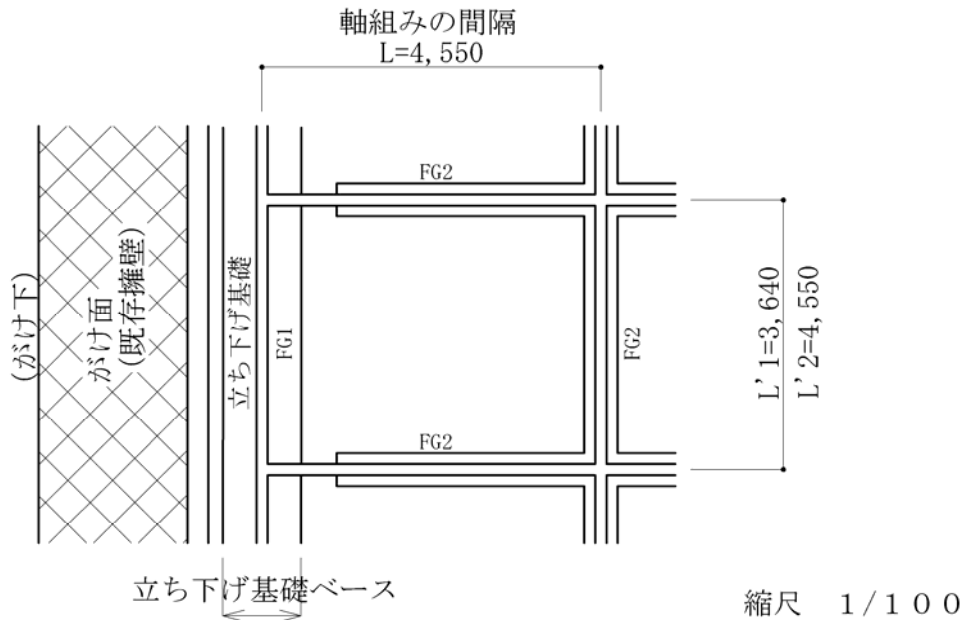
がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( $\alpha = 1.0$ ) :  $Q_a = 50$  (40)  $\text{kN/m}^2$

但し、 $\alpha$ : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

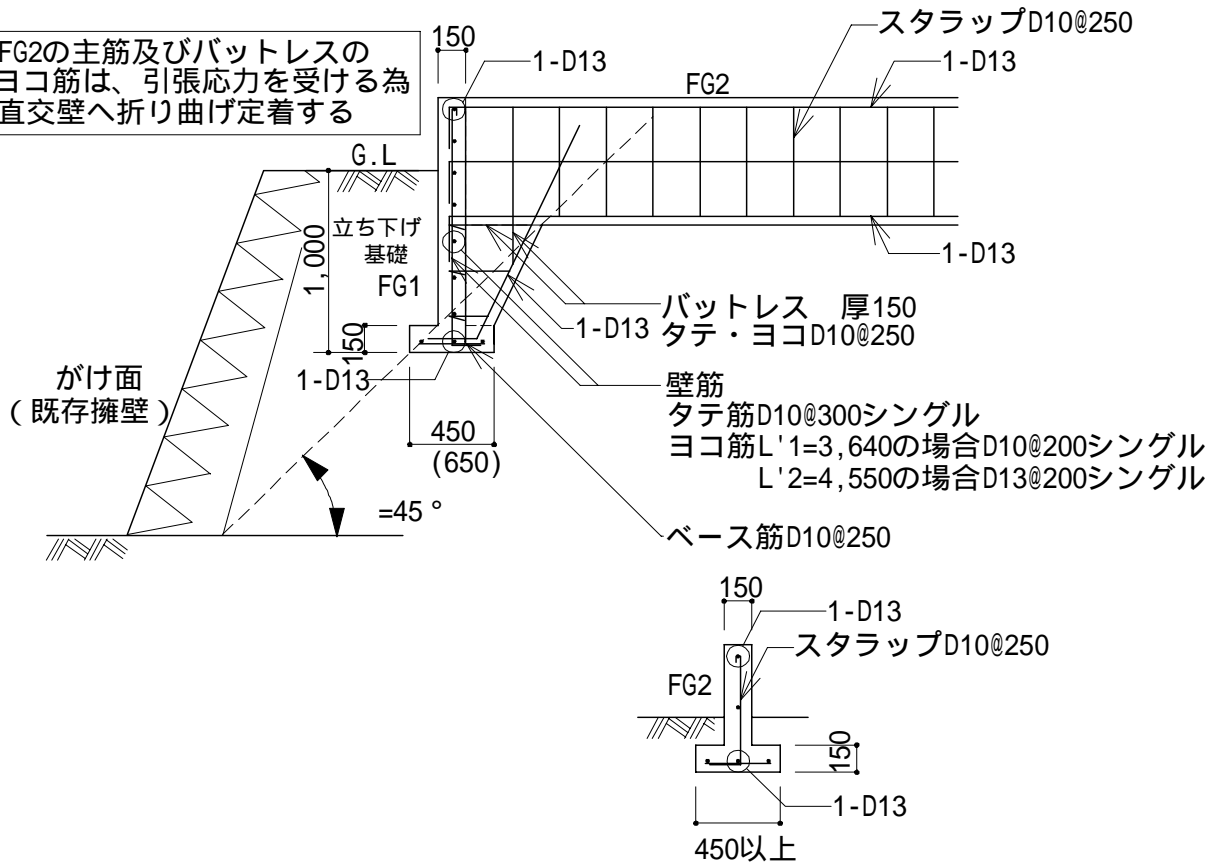
参考( $\alpha = 0.6$ の場合) :  $Q_{a'} = 84$  (67)  $\text{kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)

FG2の主筋及びバットレスの  
ヨコ筋は、引張応力を受ける為  
直交壁へ折り曲げ定着する



( )内は所要地耐力40  $\text{kN/m}^2$ の場合

縮尺 1/40

2-1-4 【布・軽・軽 - 1.2 m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=1.2 m)標準図

上部建築物: 木造2階建住宅 屋根材...軽(スレート葺等)、外壁材...軽(サイディング)

上部基礎形式: 布基礎

がけの安定角度線: = 45°

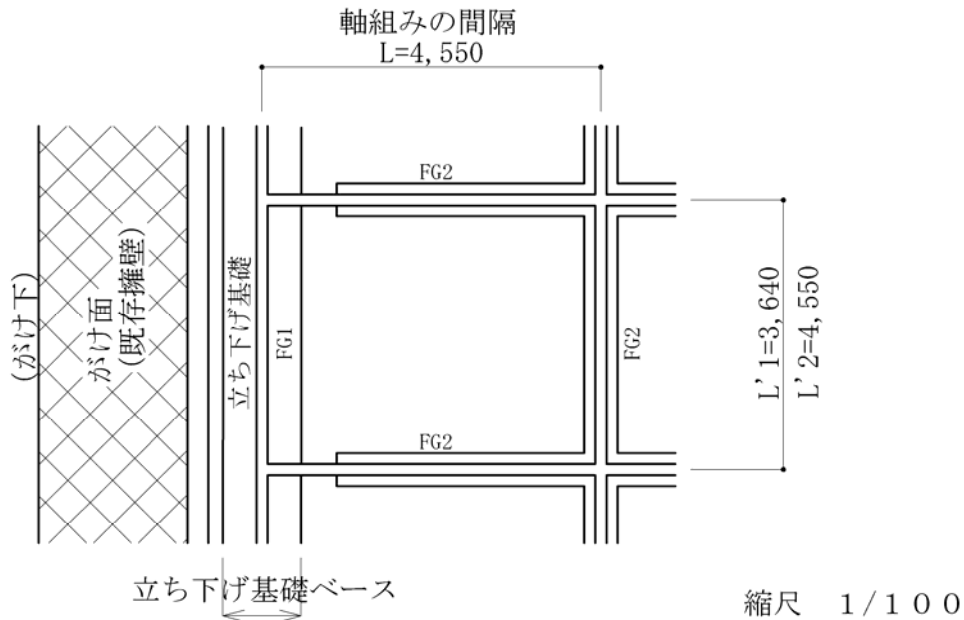
がけ面に平行な軸組みの間隔: L = 4.55 m

所要地耐力( = 1.0) :  $Q_a = 50$  (40)  $\text{kN/m}^2$

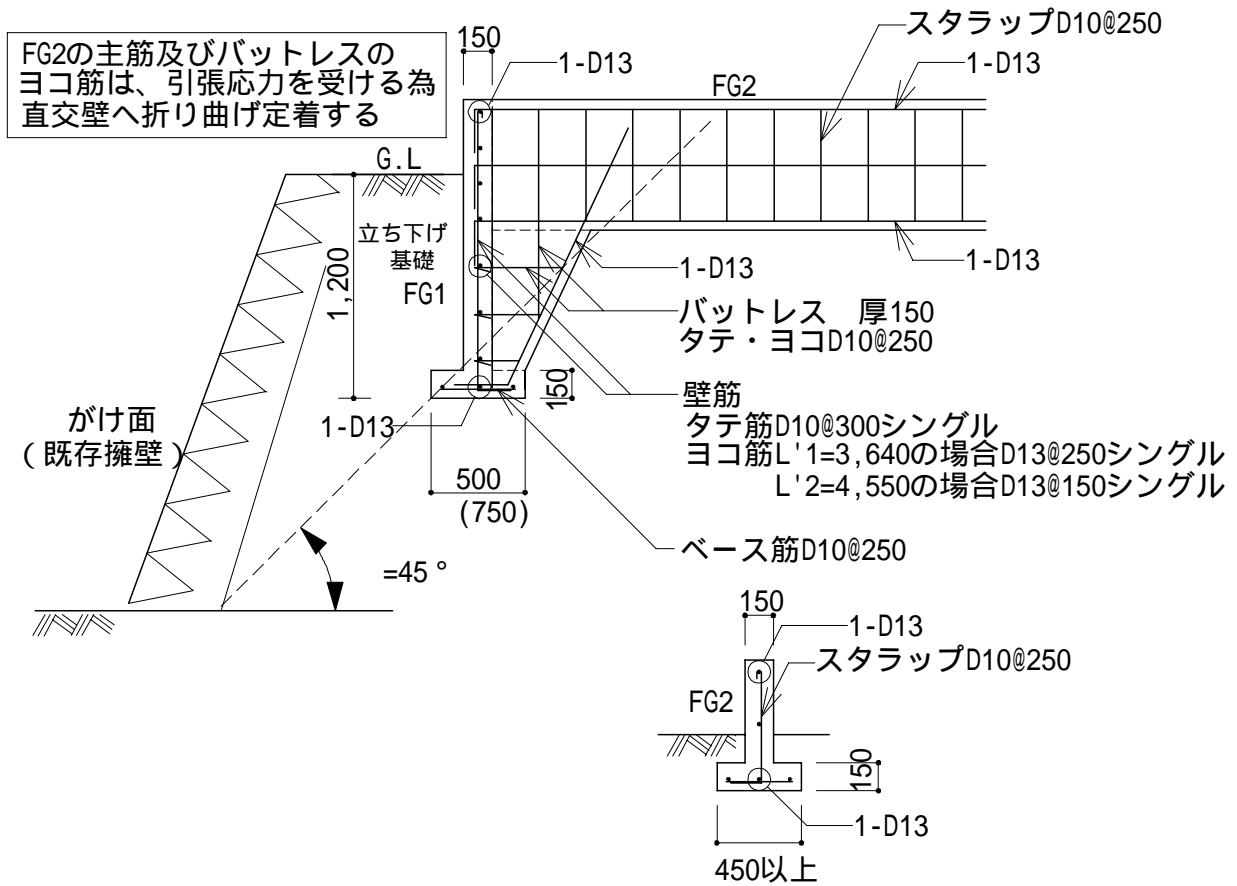
但し、 : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( = 0.6の場合) :  $Q_{a'} = 84$  (67)  $\text{kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



( )内は所要地耐力40  $\text{kN/m}^2$ の場合 縮尺 1/40

2-1-5 【布・軽・軽 - 1.4m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=1.4m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...軽(スレート葺等)、外壁材...軽(サイディング)

上部基礎形式:布基礎

がけの安定角度線:  $\alpha = 45^\circ$

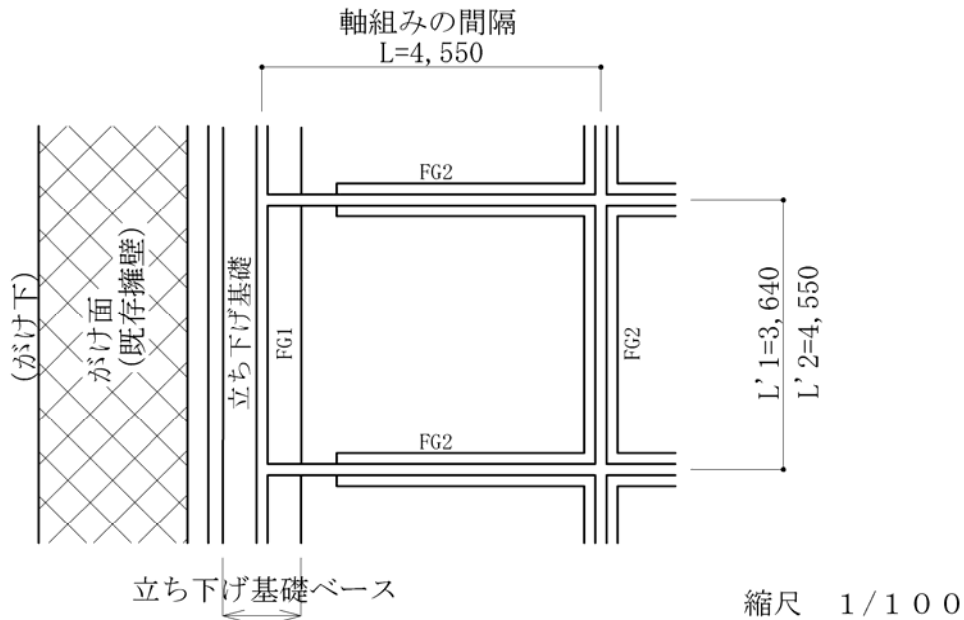
がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( $\alpha = 1.0$ ) :  $Q_a = 50$  (40)  $\text{kN/m}^2$

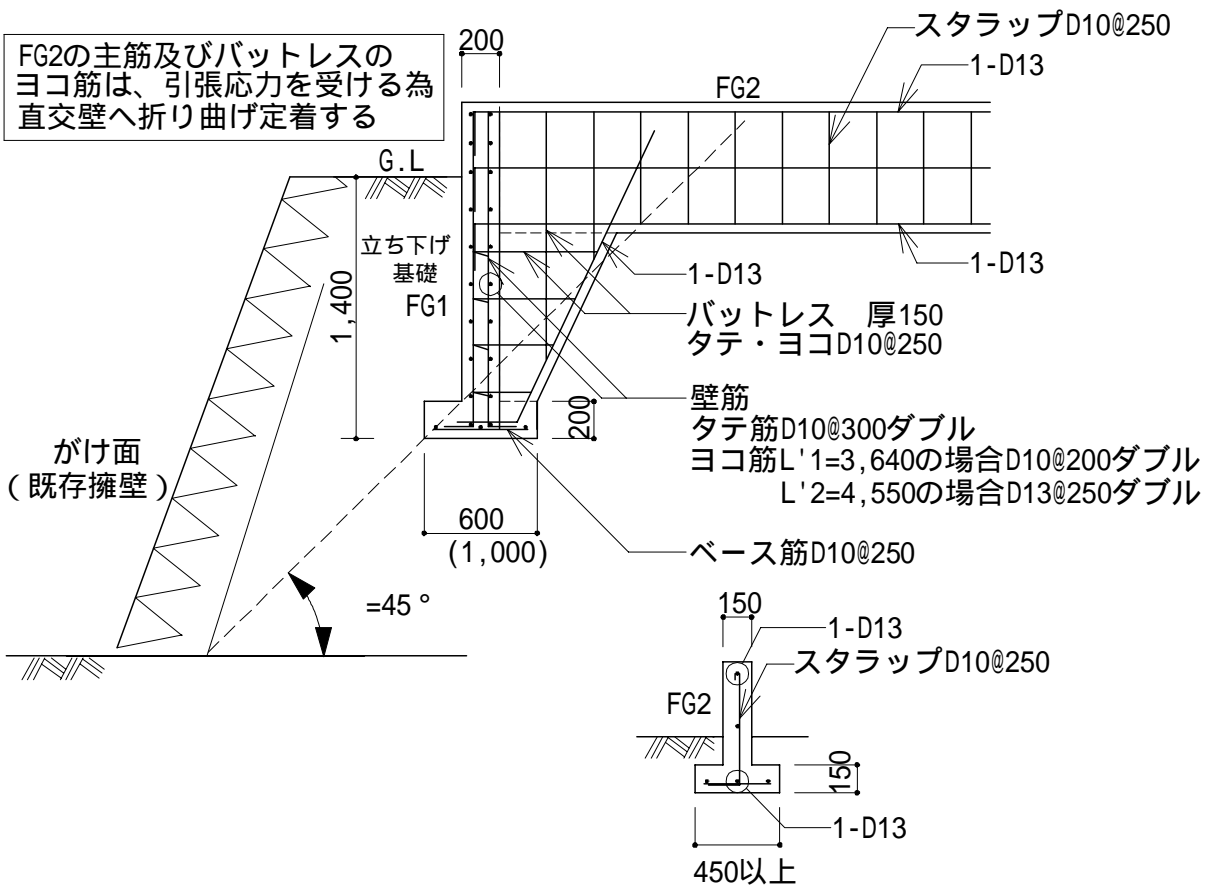
但し、 $\alpha$ : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( $\alpha = 0.6$ の場合) :  $Q_{a'} = 84$  (67)  $\text{kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



( )内は所要地耐力40  $\text{kN/m}^2$ の場合 縮尺 1/40



2-1-6 【布・軽・軽 - 1.6m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=1.6m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...軽(スレート葺等)、外壁材...軽(サイディング)

上部基礎形式:布基礎

がけの安定角度線: = 45°

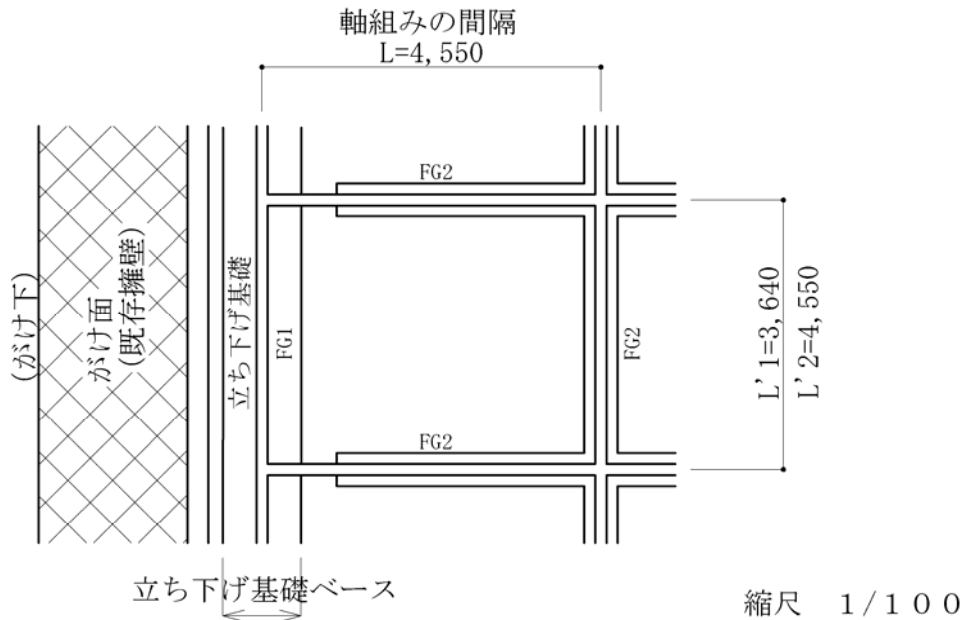
がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( = 1.0) :  $Qa = 50 \text{ kN/m}^2$

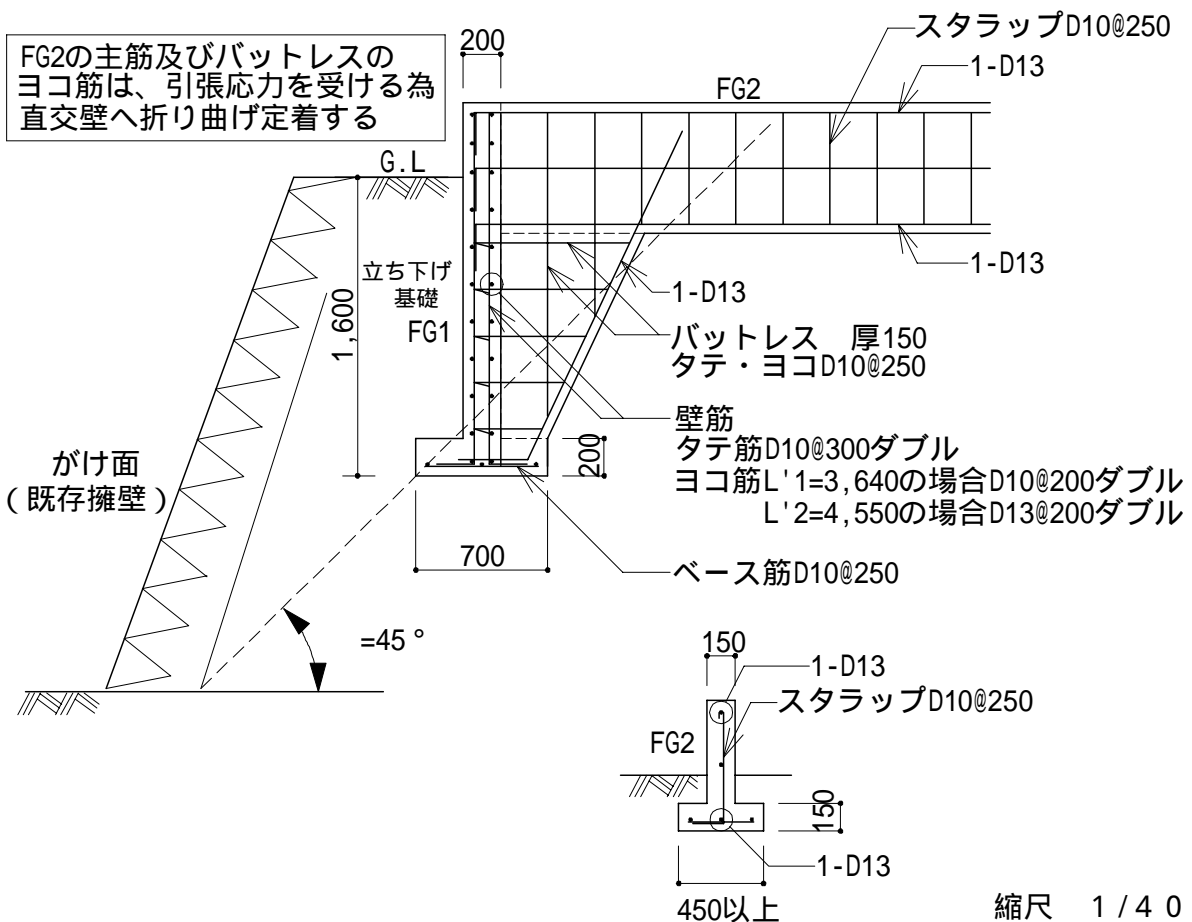
但し、 : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( = 0.6の場合) :  $Qa' = 84 \text{ kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



2-1-7 【布-軽・軽-1.8m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=1.8m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...軽(スレート葺等)、外壁材...軽(サイディング)

上部基礎形式:布基礎

がけの安定角度線: = 45°

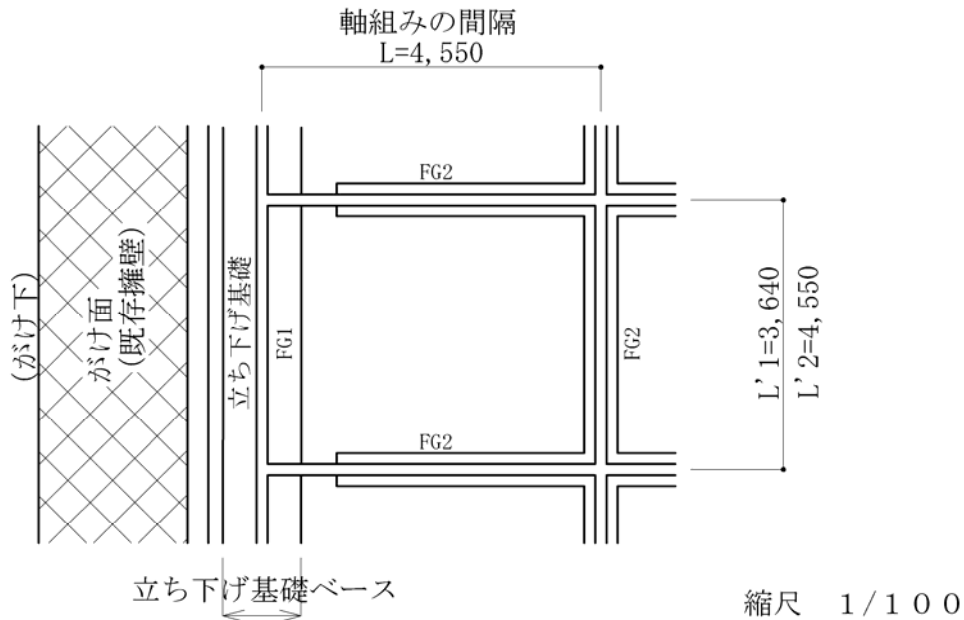
がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( = 1.0) :  $Q_a = 50 \text{ kN/m}^2$

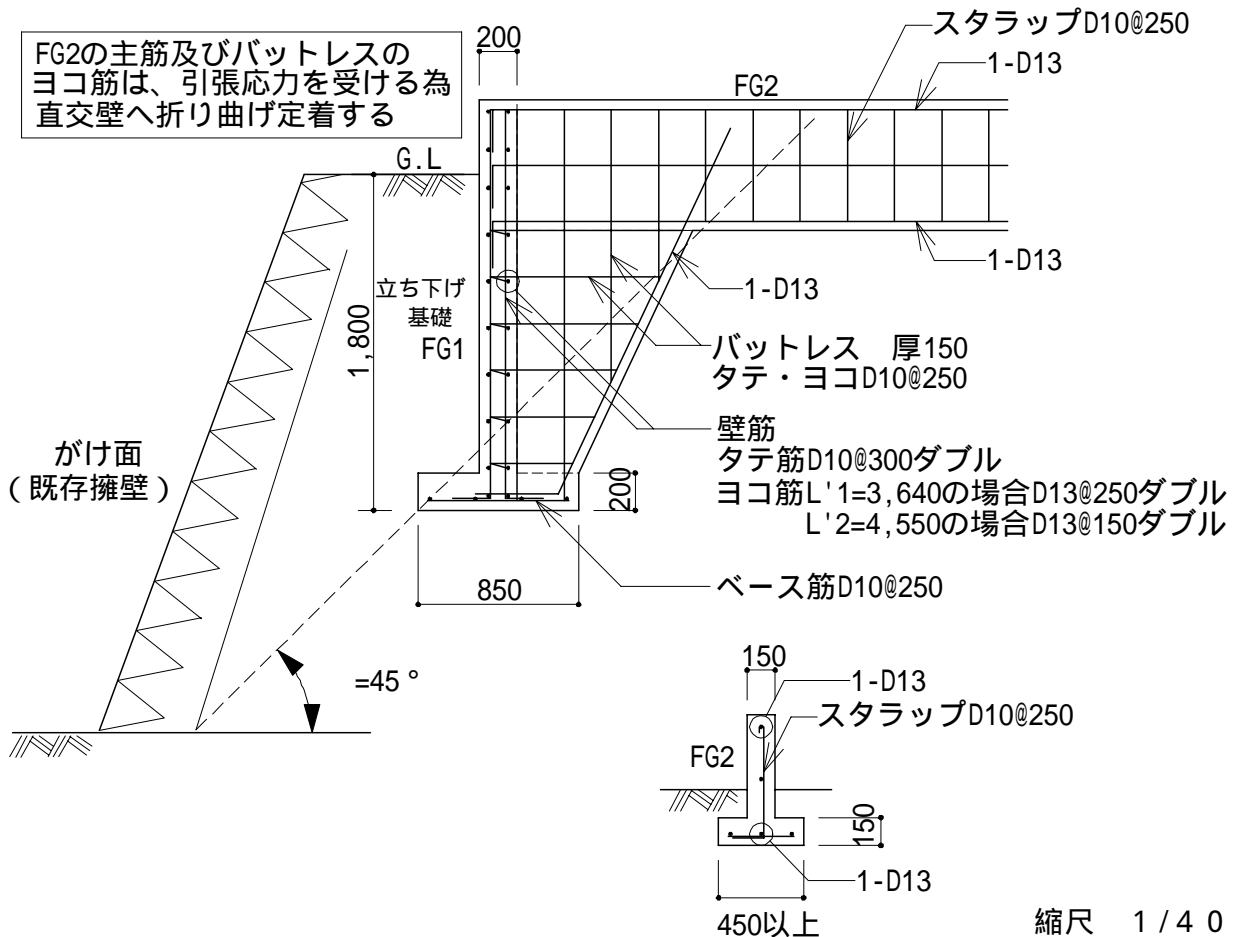
但し、 : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( = 0.6の場合) :  $Q_{a'} = 84 \text{ kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



2-1-8 【布・軽・軽 - 2.0m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=2.0m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...軽(スレート葺等)、外壁材...軽(サイディング)

上部基礎形式:布基礎

がけの安定角度線: = 45°

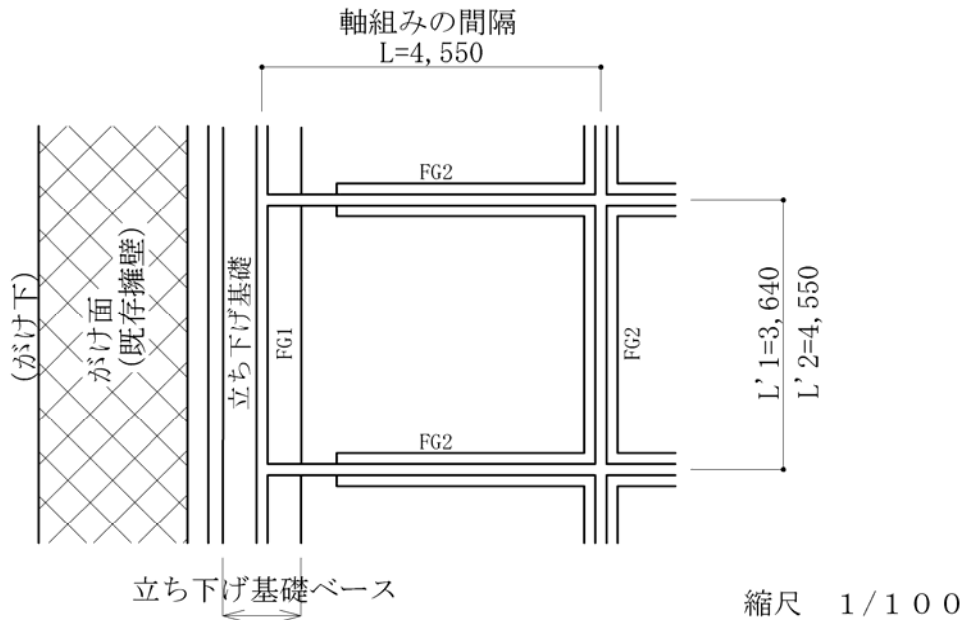
がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( = 1.0) :  $Qa = 50 \text{ kN/m}^2$

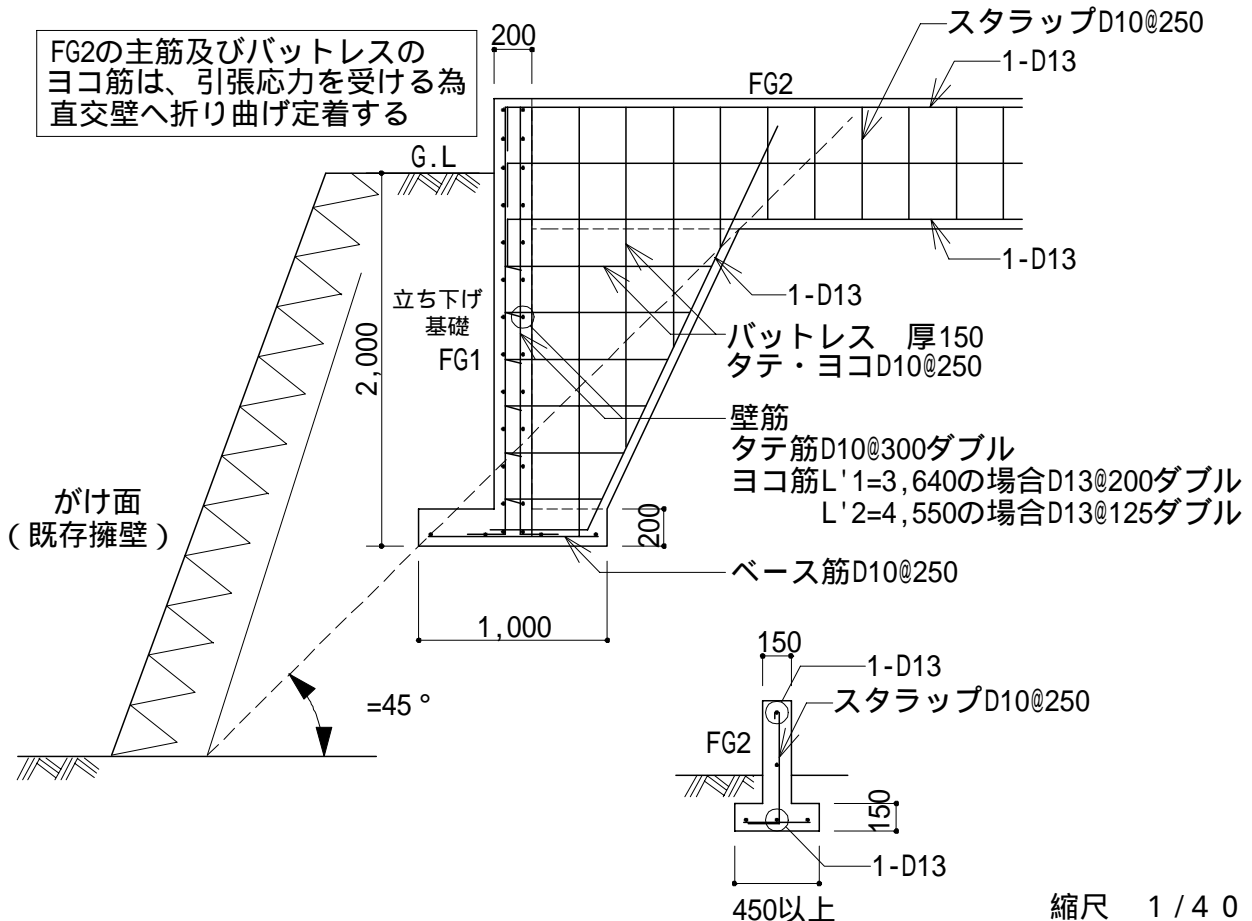
但し、 : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( = 0.6の場合) :  $Qa' = 84 \text{ kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



2 - 2 - 1 【布 - 瓦・重 - 0.6m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H = 0.6m)標準図

上部建築物: 木造2階建住宅 屋根材...瓦(ふき土なし)、外壁材...重(モルタル、タイル)

上部基礎形式: 布基礎

がけの安定角度線:  $\alpha = 45^\circ$

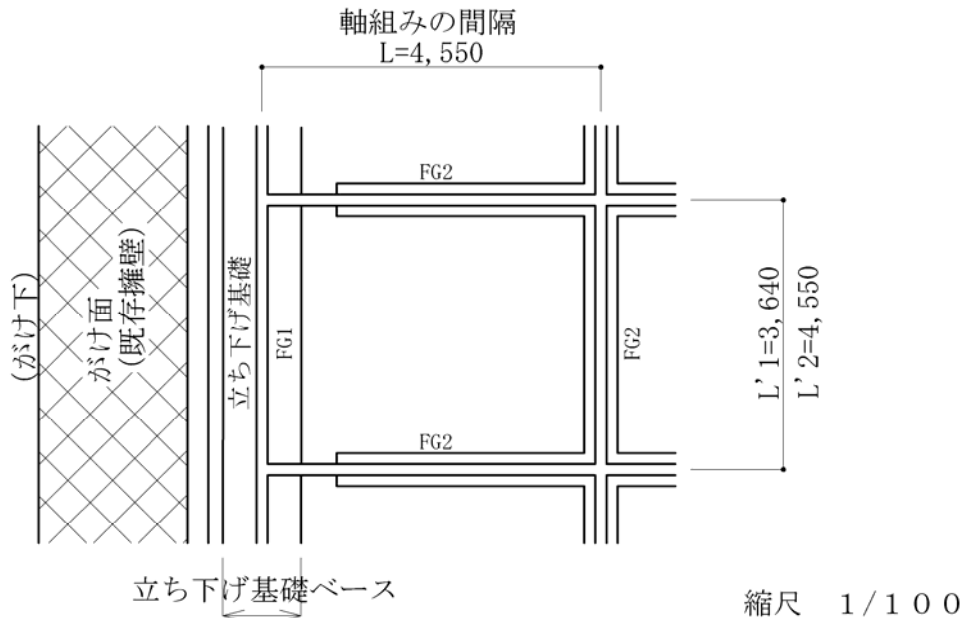
がけ面に平行な軸組みの間隔:  $L = 4.55 \text{ m}$

所要地耐力( $\alpha = 1.0$ ) :  $Q_a = 50 \text{ (40) kN/m}^2$

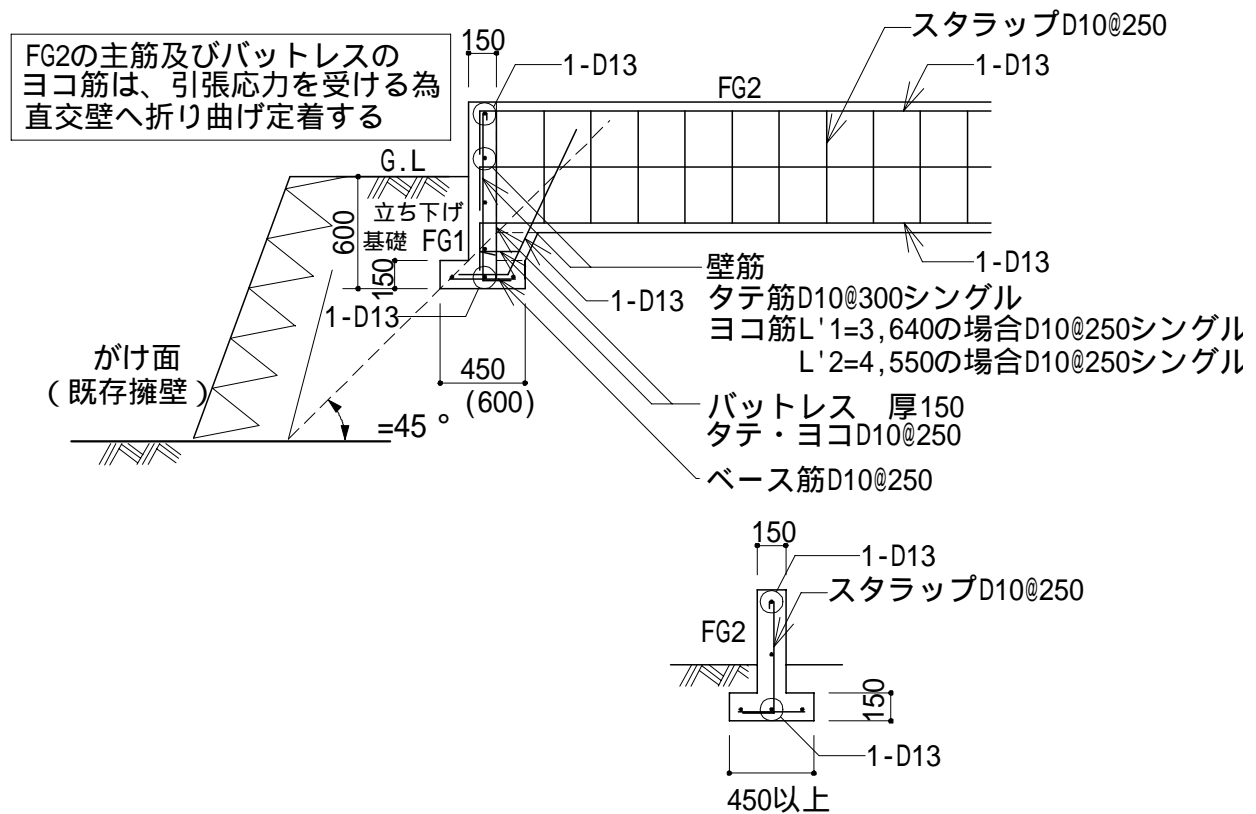
但し、 $\alpha$ : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( $\alpha = 0.6$ の場合) :  $Q_a' = 84 \text{ (67) kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



( )内は所要地耐力40k N/m<sup>2</sup>の場合 縮尺 1/40

2 - 2 - 2 【布 - 瓦・重 - 0.8m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H = 0.8m)標準図

上部建築物: 木造2階建住宅 屋根材...瓦(ふき土なし)、外壁材...重(モルタル、タイル)

上部基礎形式: 布基礎

がけの安定角度線:  $\alpha = 45^\circ$

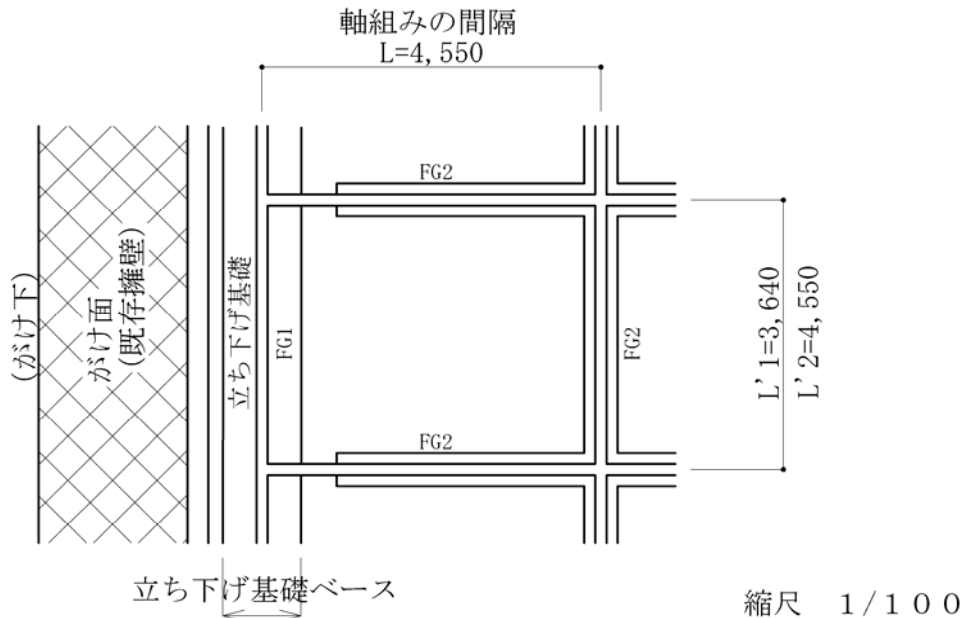
がけ面に平行な軸組みの間隔:  $L = 4.55 \text{ m}$

所要地耐力( $\alpha = 1.0$ ) :  $Q_a = 50 \text{ (40) kN/m}^2$

但し、 $\alpha$ : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

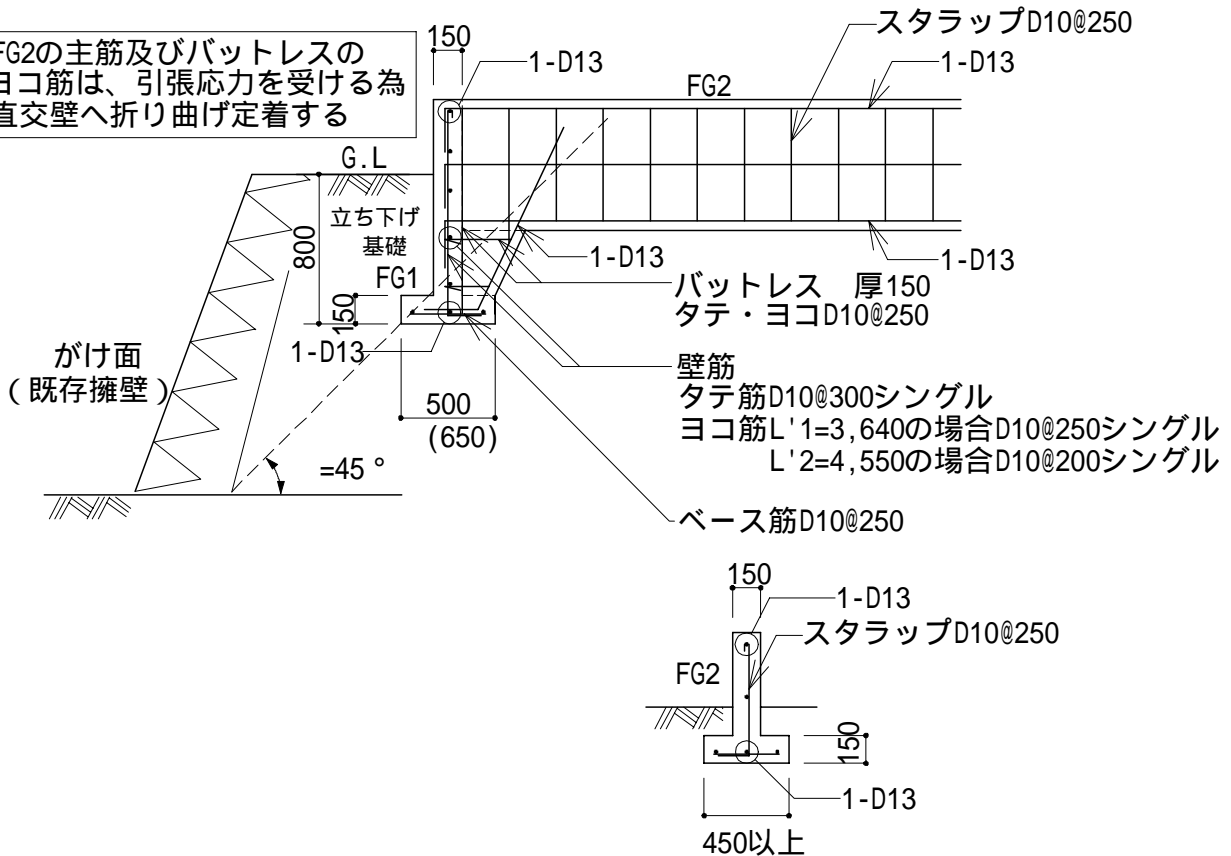
参考( $\alpha = 0.6$ の場合) :  $Q_{a'} = 84 \text{ (67) kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)

FG2の主筋及びバットレスの  
ヨコ筋は、引張応力を受ける為  
直交壁へ折り曲げ定着する



( )内は所要地耐力40 k N/m<sup>2</sup>の場合

縮尺 1/40

2 - 2 - 3 【布 - 瓦・重 - 1.0m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=1.0m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...瓦(ふき土なし)、外壁材...重(モルタル、タイル)

上部基礎形式:布基礎

がけの安定角度線:  $\alpha = 45^\circ$

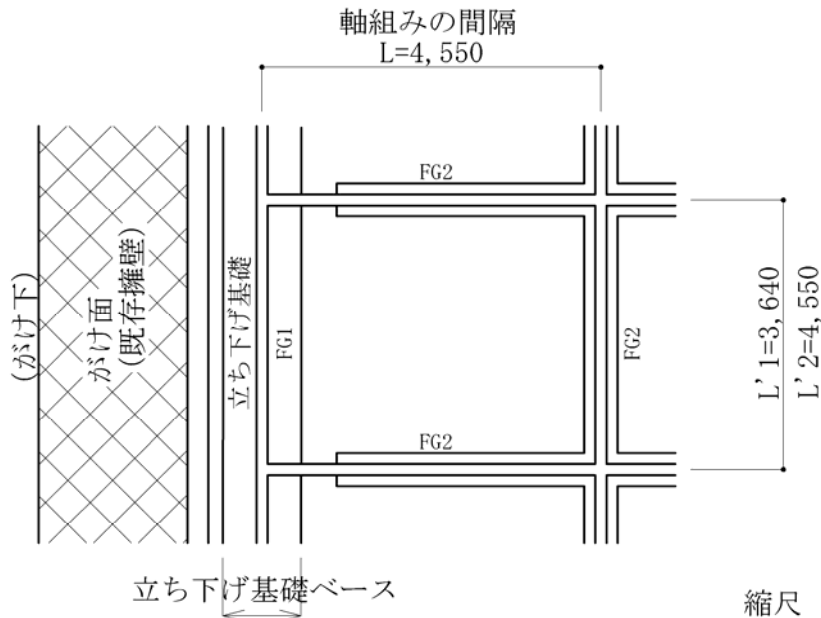
がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( $\alpha = 1.0$ ) :  $Q_a = 50$  (40)  $\text{kN/m}^2$

但し、 $\alpha$ : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

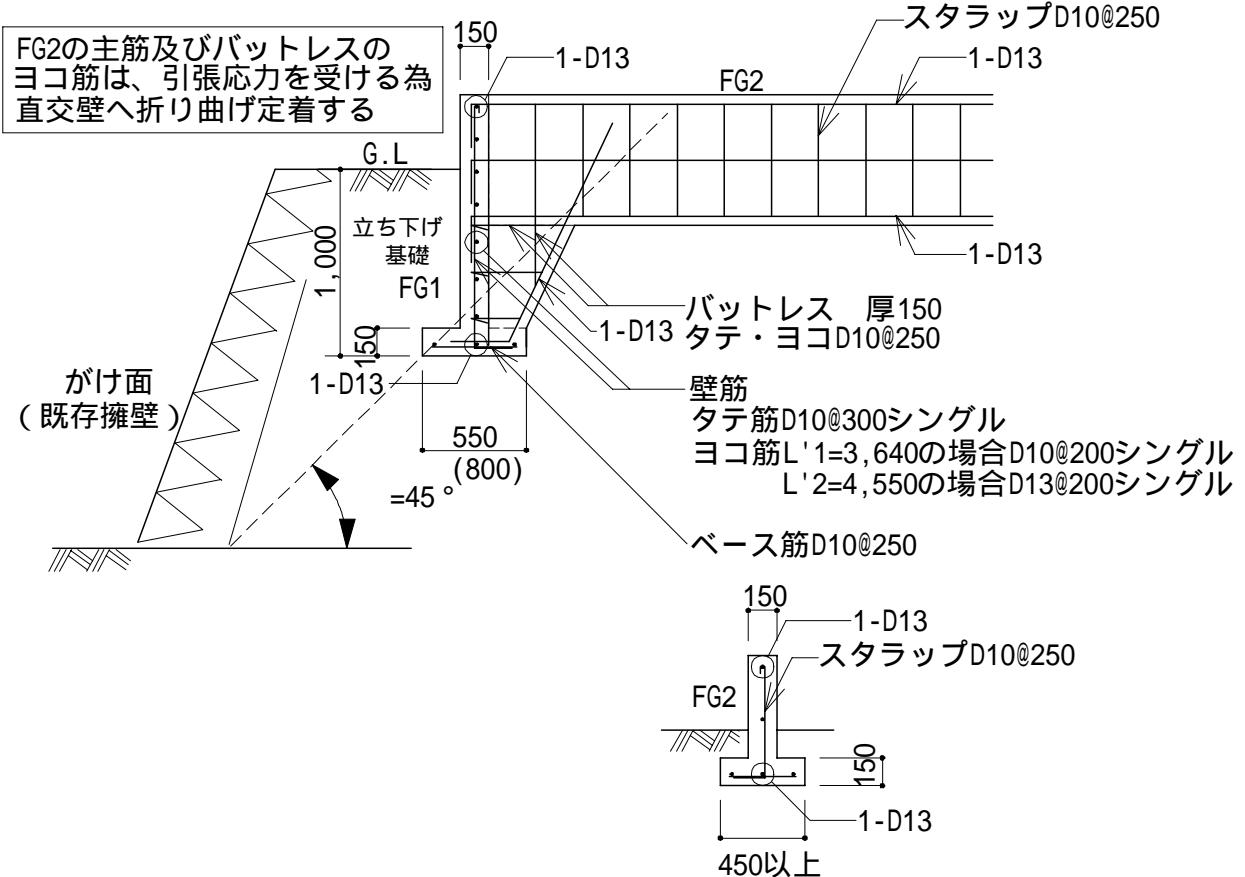
参考( $\alpha = 0.6$ の場合) :  $Q_{a'} = 84$  (67)  $\text{kN/m}^2$

基礎伏図



縮尺 1/100

基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



( )内は所要地耐力40  $\text{kN/m}^2$ の場合 縮尺 1/40

2 - 2 - 4 【布 - 瓦・重 - 1.2m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H=1.2m)標準図

上部建築物:木造2階建住宅 屋根材...瓦(ふき土なし)、外壁材...重(モルタル、タイル)

上部基礎形式:布基礎

がけの安定角度線:  $\alpha = 45^\circ$

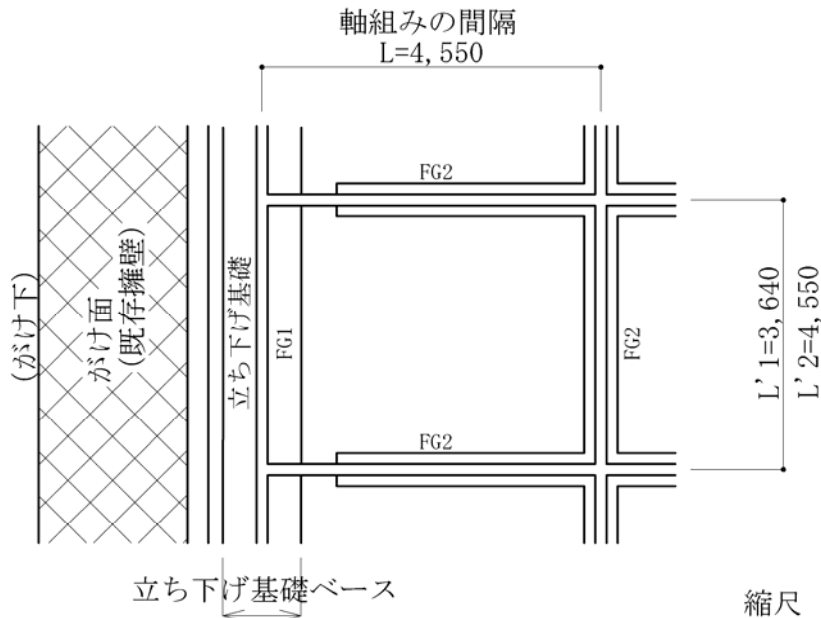
がけ面に平行な軸組みの間隔:L = 4.55 m

所要地耐力( $\alpha = 1.0$ ) :  $Q_a = 50$  (40)  $\text{kN/m}^2$

但し、 $\alpha$ : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( $\alpha = 0.6$ の場合) :  $Q_{a'} = 84$  (67)  $\text{kN/m}^2$

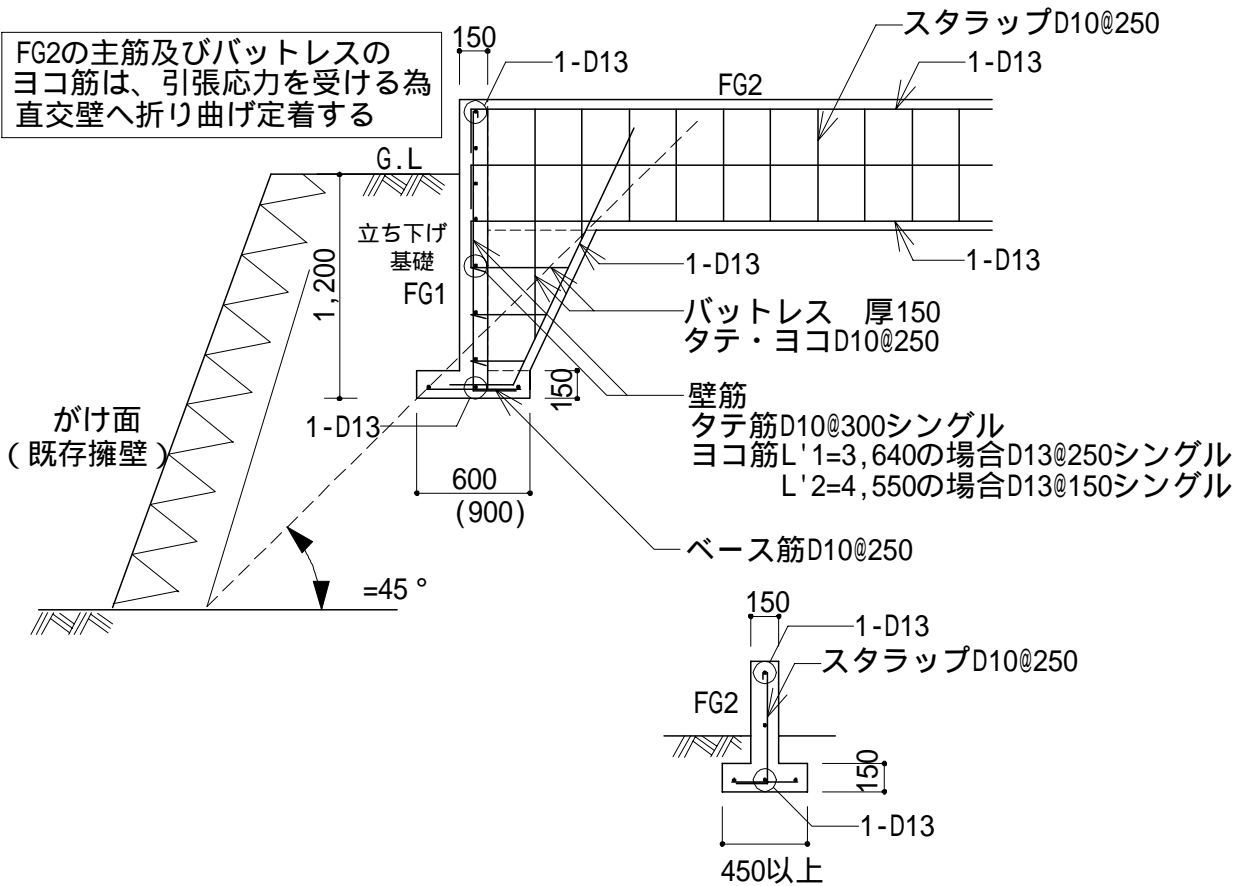
基礎伏図



縮尺 1/100

基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)

FG2の主筋及びバットレスの  
ヨコ筋は、引張応力を受ける為  
直交壁へ折り曲げ定着する



( )内は所要地耐力40  $\text{kN/m}^2$ の場合

縮尺 1/40

2 - 2 - 5 【布 - 瓦・重 - 1.4 m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H = 1.4 m)標準図

上部建築物: 木造2階建住宅 屋根材...瓦(ふき土なし)、外壁材...重(モルタル、タイル)

上部基礎形式: 布基礎

がけの安定角度線:  $= 45^\circ$

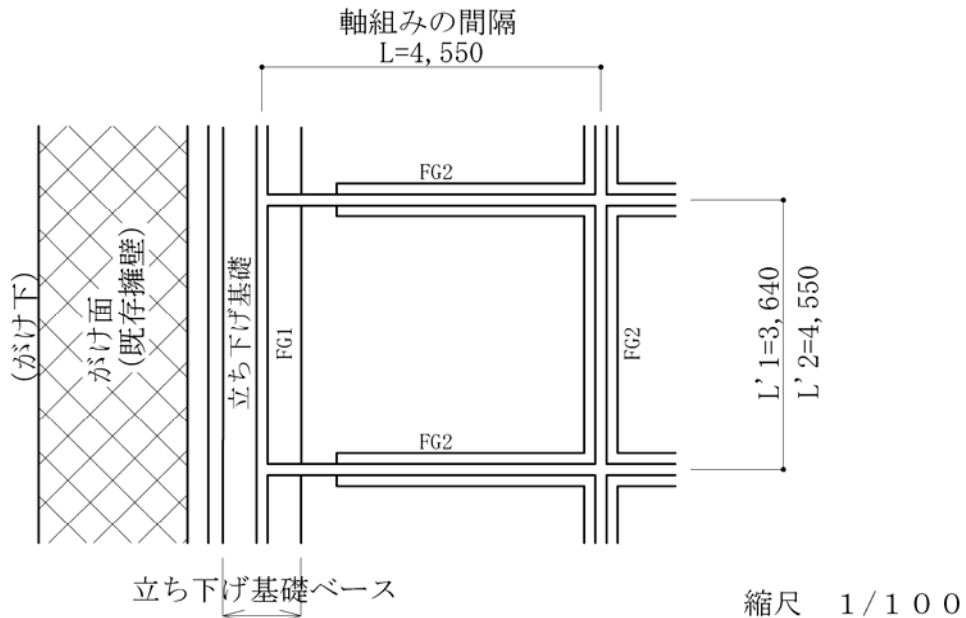
がけ面に平行な軸組みの間隔:  $L = 4.55 \text{ m}$

所要地耐力( $= 1.0$ ) :  $Q_a = 50 \text{ (40) kN/m}^2$

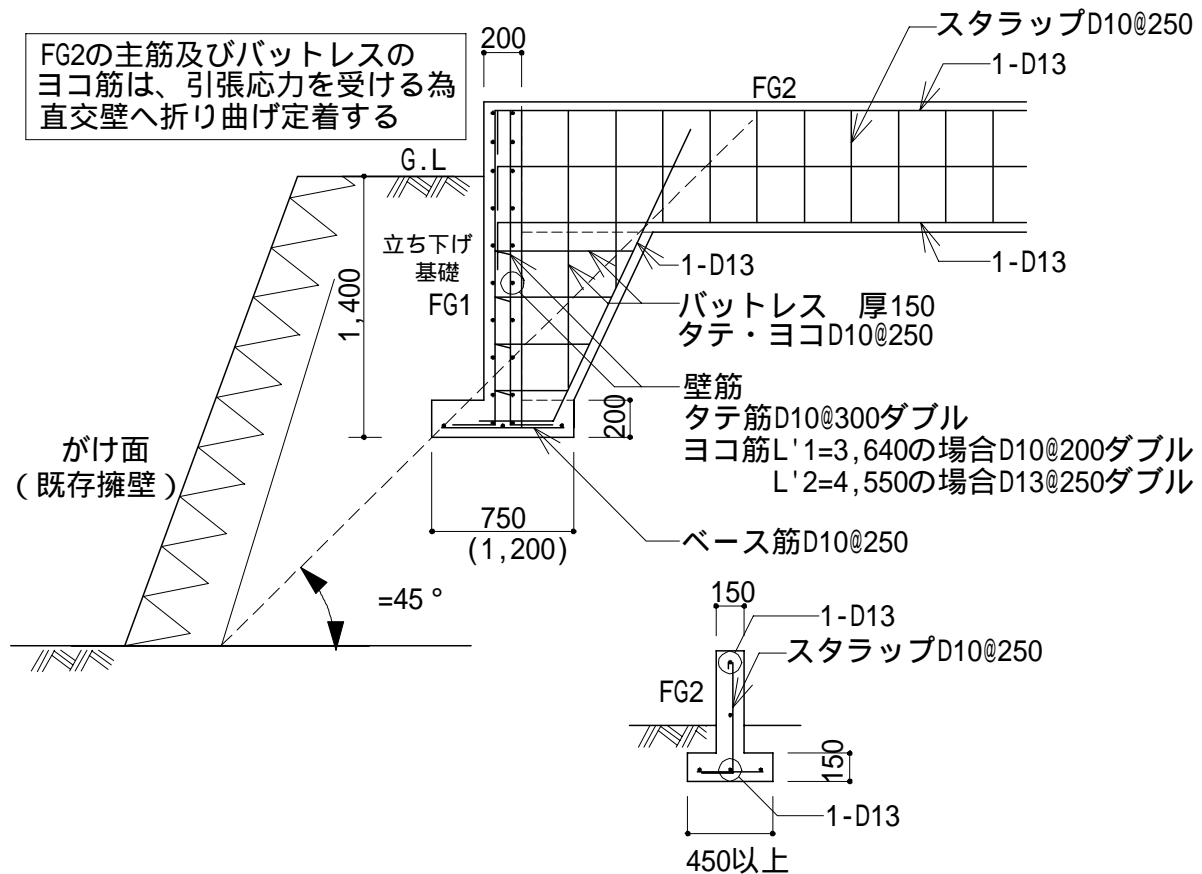
但し、: 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( $= 0.6$ の場合) :  $Q_{a'} = 84 \text{ (67) kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



( )内は所要地耐力40k N/m<sup>2</sup>の場合 縮尺 1/40



2 - 2 - 6 【布 - 瓦・重 - 1.6m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H = 1.6m)標準図

上部建築物: 木造2階建住宅 屋根材...瓦(ふき土なし)、外壁材...重(モルタル、タイル)

上部基礎形式: 布基礎

がけの安定角度線: = 45°

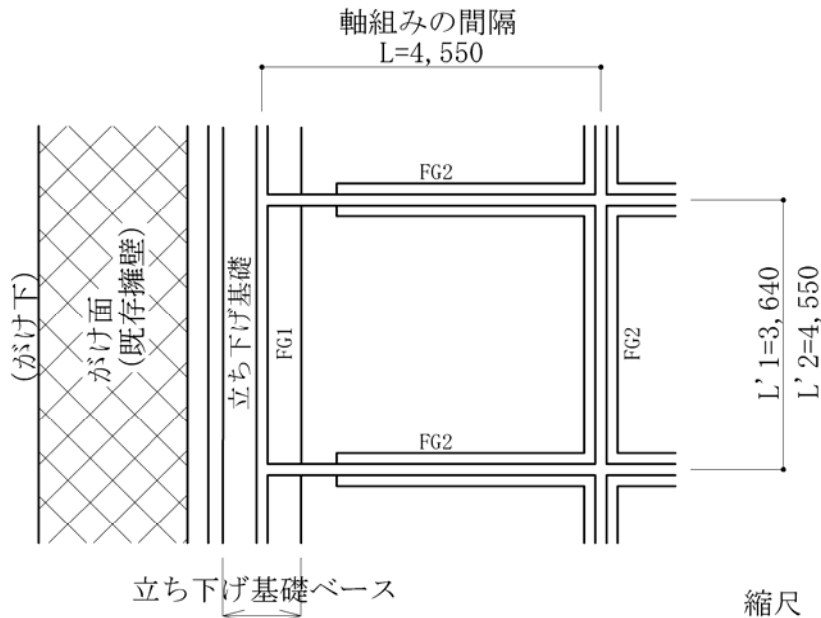
がけ面に平行な軸組みの間隔: L = 4.55 m

所要地耐力( = 1.0) :  $Q_a = 50 \text{ kN/m}^2$

但し、 : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

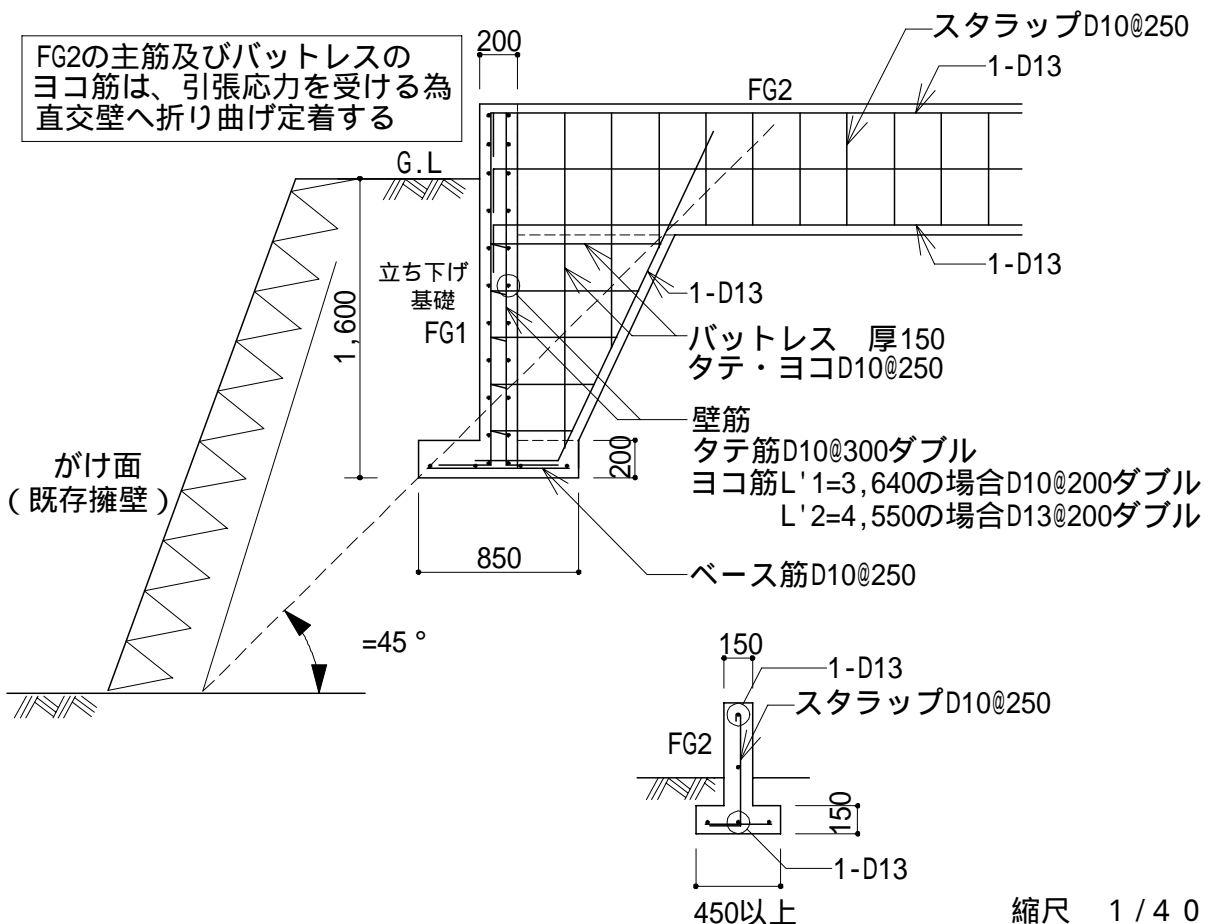
参考( = 0.6の場合) :  $Q_{a'} = 84 \text{ kN/m}^2$

基礎伏図



縮尺 1/100

基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



縮尺 1/40

2 - 2 - 7 【布・瓦・重 - 1.8m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H = 1.8m)標準図

上部建築物: 木造2階建住宅 屋根材...瓦(ふき土なし)、外壁材...重(モルタル、タイル)

上部基礎形式: 布基礎

がけの安定角度線: = 45°

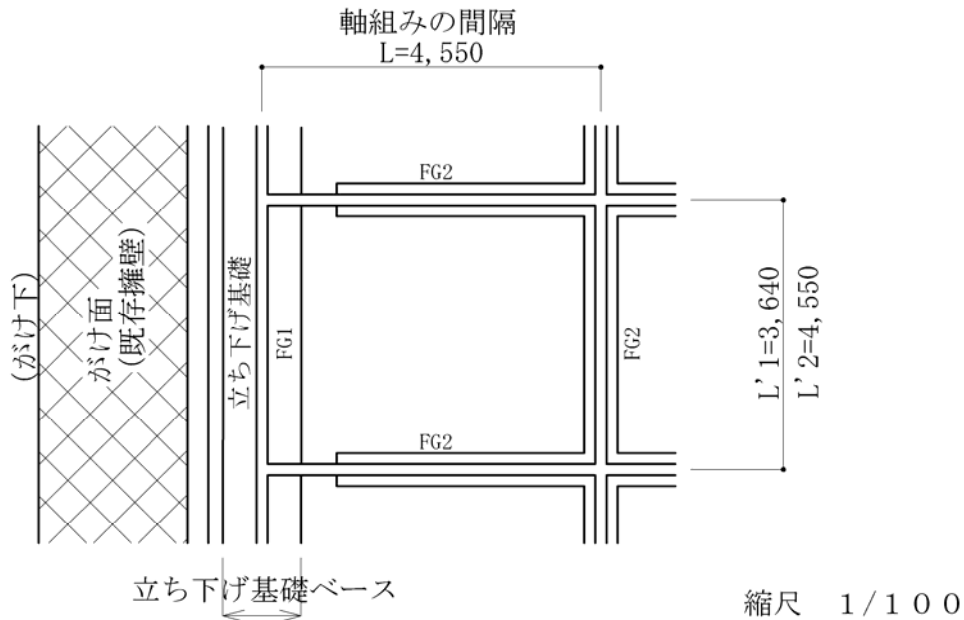
がけ面に平行な軸組みの間隔: L = 4.55 m

所要地耐力( = 1.0) :  $Q_a = 50 \text{ kN/m}^2$

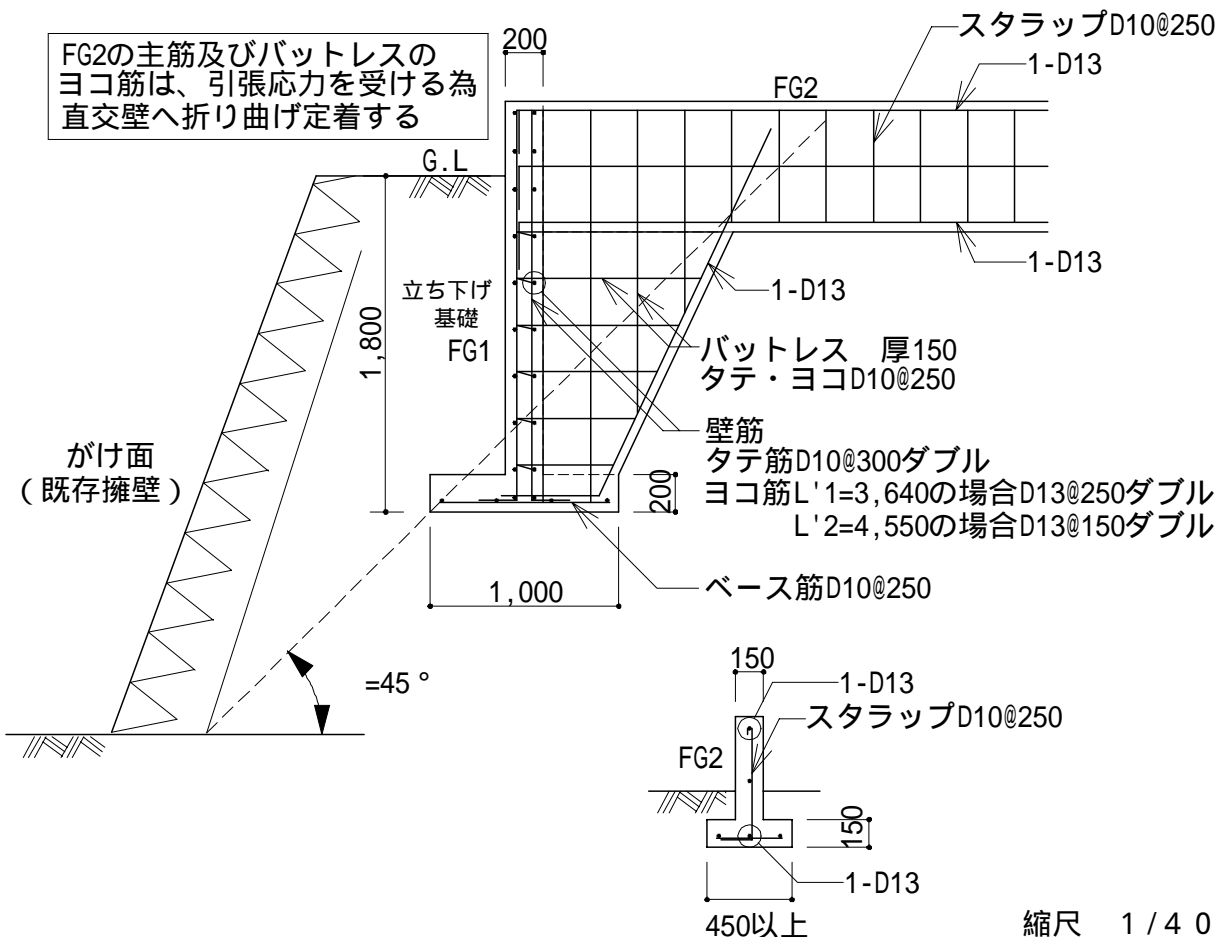
但し、 : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( = 0.6の場合) :  $Q_{a'} = 84 \text{ kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)



2 - 2 - 8 【布 - 瓦・重 - 2.0m】

がけ面平行タイプ立ち下げ基礎(H = 2.0m)標準図

上部建築物: 木造2階建住宅 屋根材...瓦(ふき土なし)、外壁材...重(モルタル、タイル)

上部基礎形式: 布基礎

がけの安定角度線: = 45°

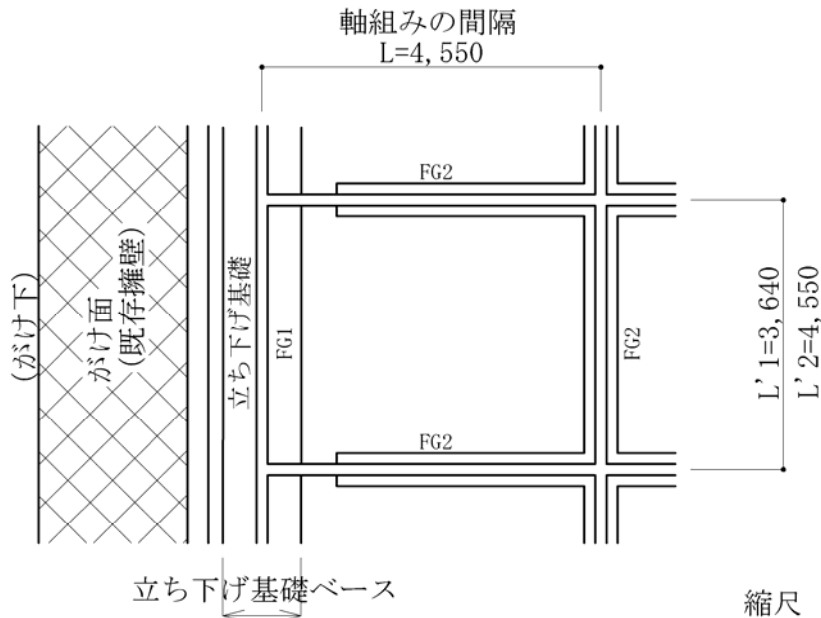
がけ面に平行な軸組みの間隔: L = 4.55 m

所要地耐力( = 1.0) :  $Q_a = 50 \text{ kN/m}^2$

但し、 : 斜面の影響を受ける場合の地耐力低減係数

参考( = 0.6の場合) :  $Q_a' = 84 \text{ kN/m}^2$

基礎伏図



基礎断面図(立ち下げ部等配筋詳細図)

